



インターアクト ハンドブック

スポンサークラブと
アドバイザーの手引き

インターアクトでは、12～18歳の青少年が地域社会で奉仕活動を行い、グローバルな理解を深める機会を得ることができます。会員は「インターアクター」と呼ばれ、インターアクトクラブで仲間と一緒に活動しながらリーダーシップの力を伸ばし、自分の可能性を発見し、協力と尊重の心を学びます。この手引きは、このようなインターアクトクラブの活動を支える大人向けであり、長年の会員も、インターアクトとの関わりは初めてという方も、どなたにもご参照いただけます。インターアクター向けの「[インターアクトハンドブック：インターアクターの手引き](#)」もあります。

この手引きの使い方

それぞれのニーズに合った方法でご利用いただけます。インターアクトに初めて関わるという方は、手引き全体に目を通すことをお勧めします。インターアクトについて既によく知っているという方は、最も関連性の高い部分だけ読み、必要に応じて後でほかの章を参照できます。さらに詳しい情報が必要な場合は、文中にあるリンクをクリックして資料をご参照ください。

この手引きの内容：

- ▶ インターアクトクラブを設立する方法
- ▶ 既存のクラブを維持する方法
- ▶ インターアクトを支える大人の役割と責務
- ▶ 安全でインクルーシブな体験を生み出し、インターアクターの成長とリーダーシップ育成を後押しするためのヒント
- ▶ 地元や世界にインパクトをもたらす有意義な奉仕活動やリーダーシップ育成の機会をつくる方法
- ▶ インターアクトクラブの活動を地元や世界中のロータリーコミュニティに紹介する方法
- ▶ ロータリーを通じた生涯の学びと奉仕のためのその他の方法

インターアクトについての理解を深めるために本手引きをご利用いただき、また青少年の育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

インターアクトに関する質問は、interact@rotary.orgまでお寄せください。

この手引きの内容は[ロータリー章典](#)に基づいており、国際ロータリー理事会による変更は、本手引きに掲載された情報に優先します。ロータリー章典にはロータリーの全般的かつ恒久的な方針がすべてまとめられており、英語の改訂版がRI理事会と規定審議会の各会合後に入手可能となります。章典が改訂される度に、変更箇所が記載された[別個の文書](#)が作成されます。

留意事項：この手引きのPDF版をご利用の場合は、PDFの「しおり」のアイコンをクリックして目次パネルの表示・非表示を切り替えると便利です。

基本用語

インターアクター

インターアクトクラブの会員である12～18歳の青少年

インターアクト

12～18歳の青少年がクラブでリーダーシップ力を身につけながら、奉仕の大切さを学び、国際的な理解を深めるプログラム。少なくとも一つのロータリークラブが、各インターアクトクラブのスポンサーとなる。

インターアクトのスポンサークラブ

インターアクトクラブがプロジェクトやリーダーシップ育成の活動を行う際に指導やメンタリングを行うロータリークラブ（または共同スポンサークラブとなっているロータリークラブ／ローターアクトクラブ）。「提唱クラブ」と呼ばれることもある。

スポンサー

インターアクターの指導やメンタリングを行ってサポートするスポンサークラブ、またはその会員。

インターアクトの アドバイザー（顧問）

インターアクトクラブを指導する大人で（「顧問」とも呼ばれる）、インターアクトクラブの全例会に出席する。ロータリー会員である必要はないが、スポンサークラブと協力してインターアクターをサポートする。学校を基盤とするクラブでは、クラブが学校の規則を守っていることを確認するために、教員がアドバイザーまたは共同アドバイザーとなる。

ロータリー

会員が自らのスキルとリソースを生かして地域の問題解決や地元のニーズに取り組んでいるクラブの世界的なネットワーク。インターアクトはロータリーの青少年プログラムの一つ。

ロータリークラブ

世界、地域社会、そして自分自身に末長い変化をもたらしたいと考えるさまざまな世代の大人が集まるクラブ。インターアクトは、ロータリークラブが支援できるプログラムの一つであり、インターアクトクラブのスポンサーとなることはその方法の一つとなる。

ローターアクトクラブ

18歳以上の人が集まって、地域社会のリーダーとアイデアを交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを磨いたりしながら、楽しく奉仕活動を行うクラブ。ローターアクトクラブは、インターアクトクラブの共同スポンサーとなることができる。

目次

この手引きの使い方			
基本用語			
第1章：インターアクトとは	3	第5章：青少年との協力	21
ロータリーとは	3	青少年の声を広げ、大人との	
ロータリーとインターアクトの		パートナーシップを促す	21
はじまり	4	青少年と大人の	
第2章：インターアクトを選ぶ理由	5	パートナーシップ：	
青少年がインターアクトに		参画の度合を測る	
参加する理由	5	「参画のはしご」	22
大人がスポンサーと		積極的な青少年育成	23
アドバイザーになる理由	5	第6章：安全とインクルージョン	24
ロータリークラブまたはローター		青少年の安全における	
アクトクラブがインターアクトク		みんなの役割	25
ラブのスポンサーとなる理由	6	青少年保護に関する懸念を	
第3章：インターアクトクラブの		報告する	27
しくみ	7	オンラインの安全性	28
1. 機会を見つける	7	インクルーシブなクラブづくり	28
2. 独自のクラブを形づくる	8	第7章：クラブの土台づくり	31
3. 会員を募集する	9	定款と細則	31
4. インターアクトクラブの		クラブのリーダー	31
運営方法を定める	9	クラブの委員会	33
5. 理事会メンバーを選ぶ	10	選挙	33
6. 正式に発足させる	10	目標の設定	34
7. 結成を祝う	10	活動資金の調達	34
8. 活動を開始する	10	充実した例会の運営	35
第4章：スポンサーと		新会員の入会	35
アドバイザーの役割	11	会員の参加促進	36
スポンサーとしての		第8章：クラブでの充実した体験	37
コミットメント	12	奉仕学習	37
自分のクラブはスポンサーと		奉仕学習を通じた学びの旅	38
なるのにふさわしいか？	12	国際理解の推進	39
スポンサークラブの要件と		リーダーシップ力の育成	40
責務	13	第9章：クラブの広報と推進	41
インターアクトのアドバイザー	16	公共イメージとブランド構築	41
インターアクトクラブの		クラブがもたらしている	
アドバイザーとしての適性	16	インパクトを伝える	42
アドバイザーの要件と責務	17	新会員を募る	44
状況に応じて役割を調整する	19		
		第10章：ロータリーとの	
		パートナーシップ	45
		地区からのサポート	46
		第11章：ロータリーとともに成長	
		する：インターアクトを超えて	48
		インターアクト卒業後	48
		第12章：ロータリーのリソースの	
		活用	50
		オンラインツール	50
		そのほかのリソース	50
		補遺	51
		補遺1：	
		クラブ認定証伝達式の例	52
		補遺2：	
		目標設定に役立つ質問	53
		補遺3：	
		インターアクトクラブ向けの	
		表彰	54
		補遺4：	
		具体的な目標の設定	57
		補遺5：	
		例会の議題の見本	58
		補遺6：	
		ロータリー年間予定表	60

第 1 章

インターアクトとは

インターアクトは、ロータリーがスポンサーする12～18歳向けの奉仕クラブです。インターアクトクラブでは、青少年が楽しみながらリーダーシップの力を身につけ、新しい友だちをつくることができます。インターアクトクラブは、少なくとも地元の一つのロータリークラブがスポンサーとなり、ほかのロータリークラブとローターアクトクラブが共同スポンサーとなることもできます。インターアクトクラブは、学校または地域のいずれかを基盤とし、多くの場合、月に2回例会を開きます。インターアクトクラブは、毎年少なくとも二つのプロジェクトを実施します（一つは学校または地域社会の支援を行うプロジェクト、もう一つは国際理解を推進するプロジェクト）。アドバイザーとスポンサークラブの会員は、メンター、相談役、世話役、擁護者としての役割を果たします。

ロータリーとは



インターアクトは、ロータリーという大きなネットワークの一部です。ロータリーは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する会員から成る世界的なネットワークです。

世界中のロータリークラブとローターアクトクラブでは、地域社会への奉仕と友情への情熱を分かちあう大人が会員となっています。

ローターアクトクラブは大学または地域を基盤としています。卒業後もロータリーと関わり続けたいというインターアクトの学友の多くが、ローターアクトクラブに入会しています。

詳しくはrotary.org/about-rotaryをご覧くださいか、ロータリーのラーニングセンターから「[ロータリーの基本知識](#)」のコースをご利用ください。

役立つ情報

ロータリークラブとローターアクトクラブがスポンサーするインターアクトクラブには、世界に30万人以上の会員がいます。会員は、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリークラブのネットワークを通じて、地元や海外の仲間とアイデアを交換し、奉仕活動を実施できます。このようなつながりを築くために、少なくとも地元の一つのロータリークラブがインターアクトクラブのスポンサークラブとなる必要があります。スポンサークラブの役割については、[第4章](#)で詳しく説明します。



ロータリーとインターアクトのはじまり

国際ロータリーは、ある一人のビジョンから始まりました。その人の名はポール・ハリス。米国イリノイ州シカゴで弁護士として働いていたハリスは、1905年にシカゴ・ロータリークラブを設立し、さまざまな種類の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯の友情を培うことのできる場を実現しました。ロータリーは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今では、さまざまな職業や文化を持つロータリー会員が、草の根の奉仕活動や国際的な取り組みを行っています。青少年への支援は常に、ロータリーの活動の重要な部分を占めてきました。

役立つ情報

歴史に関心がありますか？ロータリーの歴史資料室（アーカイブ）には数万点もの写真、記録、出版物、所蔵物が保存されています。ロータリーの歴史や史料コレクションについてはrotary.org/ja/historyをご覧ください。

1950年代後半になると、ロータリー会員たちは、ロータリー全体のプログラムを通じて青少年による奉仕を促し、そのリーダーシップ力を育む方法を模索するようになりました。数年間の検討を経て、1959-60年度国際ロータリー会長ハロルド・トーマスの指揮の下、ロータリーはインターアクトプログラムの計画を承認しました。1962年11月、米国フロリダ州のメルボルン高校の生徒たちが初のインターアクトクラブを結成しました。「インターアクト」という名称は、「インターナショナル」と「アクション」を組み合わせたものです。

第2章

インターアクトを選ぶ理由

インターアクトクラブを支援しようかどうか迷っている場合は、青少年、アドバイザー、スポンサークラブの会員がインターアクトに参加する理由について考えてみましょう。



青少年がインターアクトに参加する理由

青少年は、インターアクトを通じてリーダーシップ力を身につけ、新しい友だちを作りながら、奉仕活動を体験し、新しい考え方や文化について学び、国際的な理解を促します。

スポンサークラブとアドバイザーの支援の下、インターアクトクラブの会員は次のことを行います。

- ▶ **リーダーシップを発揮する：** クラブを形づくり、奉仕活動、リーダーシップ力の育成、社会活動などを企画・実施するのは、インターアクター自身です。インターアクターは、自分たちの関心や地域のニーズに合わせて独自のクラブづくりができます。このプロセスを通じて、生涯役立つリーダーシップの力が培われます。
- ▶ **奉仕の大切さを学ぶ：** インターアクターは、自ら奉仕活動の計画を立てて実施し、その成果や学んだことを振り返ることで、奉仕を通じて生み出すことのできるインパクトについて学びます。インターアクトクラブによる奉仕活動は、実際に変化をもたらしています。
- ▶ **グローバルな市民になる：** 青少年は、インターアクトクラブを通じてグローバルなコミュニティの一員となり、世界中の青少年とつながることで異文化への理解を深め、新たな友情を広げることができます。



大人がスポンサーとアドバイザーになる理由

インターアクトのスポンサーとアドバイザーを務める大人は、青少年による奉仕の力を信じています。インターアクターが能力、関心、地元とのつながりを培えるようサポートすることで、自分もインパクトをもたらせることに気づくでしょう。スポンサーとアドバイザーは、以下のことを行います：

- ▶ 青少年が安心して活動でき、自由に考えが述べられると感じられる**安全な環境を提供する**
- ▶ インターアクターが自らクラブづくりを行い、目標を立てて活動できるよう**メンタリングとサポートを行う**
- ▶ 奉仕プロジェクトを**後押しする**
- ▶ 地元地域や世界とつながる**機会を提供する**

上記を行うことは、スポンサーとアドバイザーにとっても以下のようなメリットがあります：

- ▶ ファシリテーターやリーダーとして個人的、職業的に成長する
- ▶ インターアクターとの交流を通じて新たな視点を発見する
- ▶ 青少年のエンパワメントを支えることで達成感が得られる
- ▶ 地域社会や世界に前向きな変化を生み出す



ロータリークラブまたはローターアクトクラブがインターアクトクラブのスポンサーとなる理由

インターアクトは、青少年に奉仕の大切さとロータリーを紹介する優れた方法です。ロータリー会員は、社会奉仕と協同の模範を示すことができます。スポンサーとなるロータリークラブとローターアクトクラブは、インターアクターが大人になってからも奉仕を続けるための意欲と能力を育むことができます。インターアクトクラブをスポンサーすることは、地元の青少年に投資し、世代を超えてアイデアを分かちあう機会となります。

奉仕に対するロータリーのコミットメント

ロータリー会員は、五大奉仕部門を通じて奉仕を実践しています。奉仕部門の一つである「青少年奉仕」は、リーダーシップ力の育成を通じて青少年のエンパワメントを図ることを重視するものです。インターアクトは、ロータリーが提供する青少年プログラムの一つです。

ロータリーの五大奉仕部門：

- **クラブ奉仕**は、クラブの強化に焦点を当てています。
- **職業奉仕**は、すべてのロータリー会員が倫理と高潔さをもって仕事にあたり、社会のニーズ解決のために職業の知識やスキルを進んで役立てることでです。
- **社会奉仕**は、すべてのロータリー会員が、地域社会の人びとの暮らしをより良くし、公共の利益のために地域社会で奉仕することです。
- **国際奉仕**は、平和と理解の推進におけるロータリーの世界的な活動範囲を示すものです。
- **青少年奉仕**は、**インターアクト**、**ロータリー指導者養成 (RYLA) プログラム**、**ロータリー青少年交換**などのリーダーシップ育成プログラムを通じて、青少年や若い社会人の力を向上させることです。

第3章

インターアクトクラブのしくみ

インターアクトクラブのスポンサーまたはアドバイザーになることを決める前に、クラブのしくみを見てみましょう。新しいインターアクトクラブの設立を考えている、または既存クラブの支援を考えている場合、本章にある8つのステップが役立ちます。このプロセスは、インターアクトクラブの入会候補者や現役インターアクターと協力して進めることができます。「[インターアクトハンドブック：インターアクターの手引き](#)」は、インターアクターが自らクラブを形づくる上で役立つ手引きです。

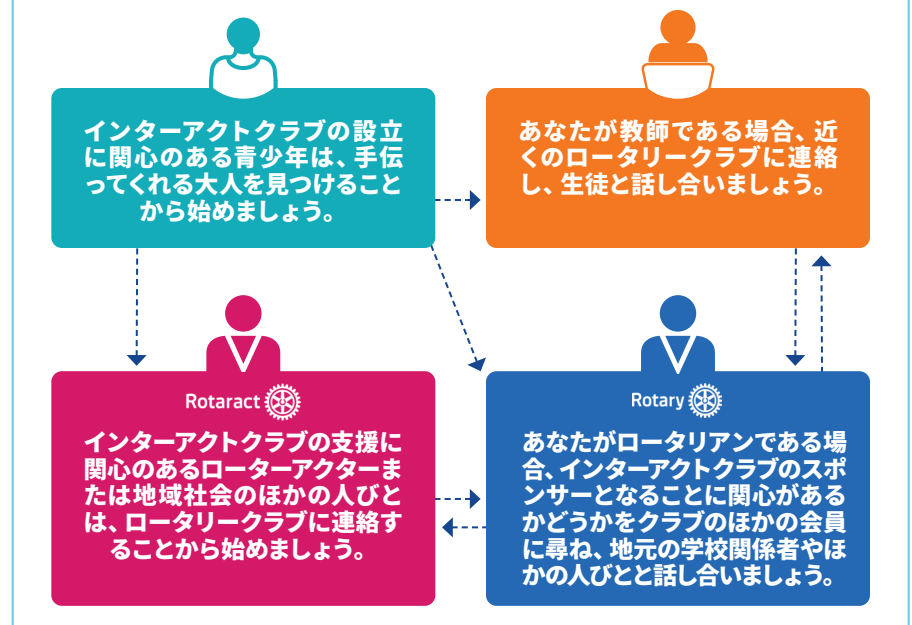
1 機会を見つける

インターアクトクラブには、青少年が奉仕活動に参加し、スキルを身につけ、リーダーシップを発揮する機会があります。インターアクトクラブの設立で恩恵を受けられる学校や地域があるかどうかを考えてみましょう。学校職員、地域のリーダー、地元のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、青少年と話をし、地元で満たされていないニーズをインターアクトクラブで満たすことができるかどうかを考えましょう。

役立つ情報

これらのステップを1度は実行し、その後も毎年参照することで、持続可能なクラブをつくる（または維持する）ことができます。毎年新会員が入会し、ほかの会員が卒業していくインターアクトクラブは、時とともに進化します。インターアクトの規定では、会員が18歳になるか学校を卒業した時（いずれか遅い方）に、会員身分が終了します。基盤である学校の方針がこれと異なる場合には、学校の規則に従う必要があります。

誰がプロセスを開始できるか



インターアクトクラブの設立に関心のある学校、教師、親、または青少年は、設立のプロセスを開始するために、青少年の奉仕活動の機会についてロータリークラブに問い合わせることができます。

より大きなインパクトをもたらすためにほかの組織と協力できるかも考えてみましょう。地元ロータリー地区のインターアクト委員長やガバナーは、既存のインターアクトクラブと協力できるロータリークラブかロータリーアクトクラブに心当たりがあるかもしれません。既にインターアクトクラブをスポンサーしているロータリークラブは、ほかのクラブと共同スポンサーとなれるかもしれません。

インターアクトクラブのスポンサーまたは共同スポンサーになることに関心がある場合は、第4章でスポンサーの要件と責務をご参照ください。

2 独自のクラブを形づくる

次に、クラブの基盤、対象年齢、例会形式といった詳細を決めます。会員のニーズと関心に合うようにクラブをカスタマイズできます。

クラブの基盤

インターアクトクラブには、学校を基盤とするクラブと地域社会を基盤とするクラブがあります。

- 学校を基盤とする場合、全会員が同じ学校に通う生徒となります。設立には学校による承認が必要であり、学校の方針に応じて教員か学校管理者がアドバイザー（顧問）または共同アドバイザーになる必要があります。
- 地域社会を基盤とする場合、地域社会全体から入会者を募集でき、会員が違う学校に通っている場合もあります。また、オンラインコミュニティや地元の青少年プログラムから募集することもできます。入会者や例会場所を見つける際には、地元の団体や人びとに協力してもらいましょう。

役立つ情報

12歳未満のインターアクトクラブをつくることに関心があるかもしれませんが、現在、国際ロータリーには12歳未満の子ども向けのプログラムはありません。インターアクトは、青少年が地元や海外の地域社会に奉仕し、リーダーシップを培うことを重視しており、ロータリーの青少年保護方針は12～18歳を対象としています。幼い子どもの場合、その関心、ニーズ、成熟度、活動にかかわるリスクが大きく異なるため、12歳未満を対象とするプログラムを立案する場合は、特に注意が必要となります。

対象年齢

インターアクトは一般的に12～18歳を対象としていますが、場合によっては会員のニーズや関心に合わせて対象年齢を調整できます。

- **年齢幅を狭める：** 地域社会を基盤とする場合、通常、入会見込者の数が非常に多くなるため、特定の年齢層のニーズに沿うために年齢幅を制限できます。学校を基盤とする場合、その学校に通う生徒の年齢と一致することが多く、インターアクトの通常の年齢層よりも狭くなることがあります。
- **年齢幅を広げる：** 学校を基盤とする一部のクラブでは、学校の方針により、すべての年齢の生徒の入会を認めなければならないことがあります。その場合、12歳未満や19歳以上であっても入会できます。また、クラブが学校を基盤とする場合、年齢にかかわらず、卒業するまで会員であり続けることができます。

例会の形式

インターアクトクラブの例会は、対面式、オンライン、またはそれらを組み合わせたハイブリッド形式で行うことができます。例会の形式についてインターアクト会員から希望や意見を集め、その形式に必要な手段とスキル（対面式の場合は場所）があるかどうかを確認しましょう。対面式の場合、誰もが行きやすい場所を選んでください（勉強やスポーツ、交流のために会員が既に利用している場所など）。遠くに住む会員がいる場合、ハイブリッド形式とすることで例会に参加しやすくすることができます。また、夏休みなどの休業期間は、オンライン例会で会員同士の交流や参加を維持できます。

3 会員を募集する

スポンサー、アドバイザー（顧問）、インターアクターは、新クラブや既存のクラブについて入会見込者に紹介するための推進資料を作成できます。推進資料には、関心を抱いた人が詳細を知るための方法を記載してください。クラブが学校を基盤とする場合、学校周辺にチラシを掲示したり、教員と協力したりできます。地域社会を基盤とする場合、地元の青少年センターなど人が集まる場所に資料を掲示できます。クラブの広報や情報発信に関心のある青少年がいる場合は、資料を作成して配布してもらったり、ソーシャルメディア用コンテンツを作成して投稿してもらったりしましょう。推奨される最低会員数は15名です（ただし必須ではありません）。新会員を募る方法については、[第9章](#)で詳しく説明します。

役立つ情報

クラブの「定款」と「細則」とは何でしょうか。

多くの団体は運営を円滑に行うための規則を定めています。これはインターアクトクラブでも同じです。クラブ定款は、世界の全インターアクトクラブに適用される基本的な指針です。一方、クラブ細則には、各クラブ独自のニーズや地元の慣習に基づいて規定を追加できます。クラブは独自の細則を作成できますが、標準クラブ定款と矛盾する内容であってはなりません。クラブの円滑な運営のために、どのような規定を追加すべきかをインターアクトクラブ会員同士で話し合ってもらいましょう。

4 インターアクトクラブの運営方法を決める

スポンサーまたはアドバイザーとして、青少年と一緒に「[標準インターアクトクラブ定款](#)」を確認し、クラブの情報を追加して完成させてください。定款には、会員資格、スポンサーシップ、例会の構成などに関する重要な方針が含まれています。クラブに入会する人は、標準インターアクトクラブ定款に記載されている方針を守る必要があります。

インターアクターと協力して入会者を集めたら、クラブで[推奨インターアクトクラブ細則](#)を確認し、クラブに合った内容となるよう修正を入れることができます。この細則は、標準インターアクトクラブ定款を補完するものであり、クラブ独自の慣習を取り入れるための土台となるものです。会員同士で話し合っただけでクラブのニーズに合うよう細則をカスタマイズできますが、定款および[ロータリー章典](#)と矛盾する内容にならないようにしてください。

5 理事会メンバーを選ぶ

クラブで**ロータリー章典**の内容を確認し、定款と独自の細則を採択した後、その細則に従って理事会メンバーを選出します。各インターアクトクラブが会長、副会長、幹事、会計を選び、各役員の役割と責務を細則で定める必要があります（クラブ役員の責務については、**第7章**で詳しく説明します）。クラブは必要に応じて追加の役員を細則に含めることができます。

6 正式に発足させる

クラブを正式に設立する準備が整ったら、インターアクターと協力して**インターアクトクラブ認定フォーム (PDF)** に記入し、Eメールで interact@rotary.org に送信するか、**RI日本事務局** にお送りください。インターアクトクラブの結成料はかかりません。事務局がフォームを受理後、クラブの認定および結成認定状の発行までに4～6週間かかります。認定状は国際ロータリーからスポンサークラブの会長にEメールで送付され、会長がこれに署名した上で、スポンサークラブからインターアクトクラブに贈呈されます。

7 結成を祝う

認定状が届いたら、クラブの正式な結成をお祝いする行事を開きましょう。結成式、新会員の入会式、役員就任式の開催に決まったやり方はありませんので、インターアクター、アドバイザー、スポンサーの皆さんの自由な発想で行ってください。地区のロータリーの伝統や地元の慣習を組み合わせ、工夫を凝らした祝賀行事を企画しましょう。**補遺1**の式典の例も参考になります。

8 活動を開始する

インターアクターが長所や才能を活かせる奉仕プロジェクトを立案し、新しい知識やスキルを学べるよう後押ししましょう。また、クラブが会員の積極的な参加を維持し、後輩を育てられるようサポートしましょう。あなたの役割は、クラブの発展のためにインターアクターを導き、育て、支援することであることを忘れないでください。

正式な認定状が届く前にクラブの活動を始めてもかまいません。早速例会を開き、計画を立てて活動を始めることができます。

役立つ情報

オンライン形式で例会を開くことを選択した場合、安全なオンライン会議ツールを選ぶことが非常に重要です。クラブが学校を基盤とする場合、スポンサークラブはインターネット／連絡に関する学校の方針に従うことが推奨されています。「**電子的方法／インターネットの使用に関する安全上の検討事項**」で詳細をご覧ください。

ロータリーの方針は**ロータリー章典**にすべて記載されています（インターアクトに関する情報は第41.010節を参照のこと）。

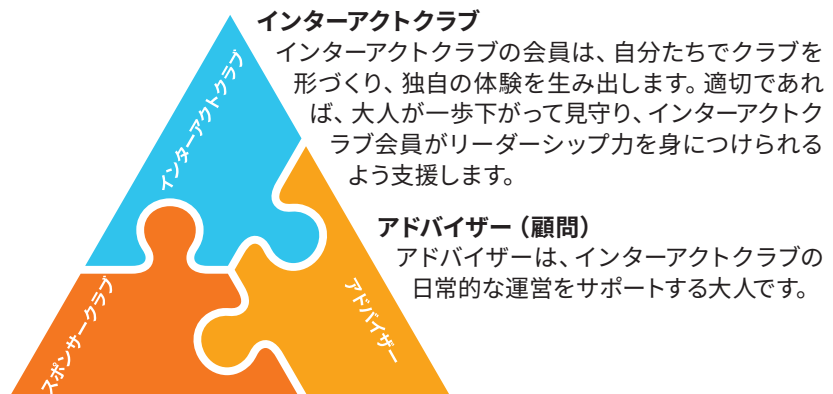
第4章

スポンサーとアドバイザーの役割

次に、アドバイザー（顧問）やスポンサークラブ会員がどのような役割を果たせるのかを見ていきましょう。すべてのインターアクトクラブについて言えることは、インターアクターをロータリーファミリーに紹介し、ロータリーの奉仕をインターアクターに紹介する上で、スポンサークラブが重要な役割を担うということです。スポンサークラブには、インターアクトクラブでの活動が安全かつ効果的に行われるようにする責任があります。スポンサークラブは、日々のクラブ運営の責任をインターアクトのアドバイザーに委任します。アドバイザーは、インターアクターたちの奉仕活動とリーダーシップの発揮を後押しします。スポンサーとアドバイザーは、奉仕を通じて地域に貢献できるようインターアクターを励まし、リーダーシップを発揮して自分の可能性を発見できる機会をつくってあげることで、インターアクターが卒業後もずっと奉仕を続けていくよう導くことができます。

一つのロータリークラブがインターアクトクラブの主要スポンサーとなる必要がありますが、ロータリークラブまたはほかのロータリークラブが共同スポンサーとなることもできます。ただし、地区ガバナーが例外を認めた場合を除き、スポンサークラブの数は3クラブまでに限られます。共同スポンサーは、主要スポンサークラブが単独で役割と責務を果たすことが難しい場合に適しています。

インターアクトの組織構造



スポンサークラブ

インターアクトの設立においては、スポンサークラブがサポートを提供します。スポンサークラブには、インターアクトクラブでの活動が安全かつ効果的に行われるようにする責任があります。



スポンサーとしてのコミットメント

インターアクトクラブのスポンサーとなることには、重要な責任が伴います。インターアクターが安心してサポートされていると感じ、クラブの運営と活動の方法を理解できるかどうかは、スポンサークラブ次第です。時間をかけて知識を分かちあい、利用可能なリソースを紹介してあげることで、インターアクターが楽しく実り多い例会を企画し、工夫を凝らして意義ある奉仕活動を立案できます。インターアクトクラブの成功には、スポンサークラブからの献身的なサポートが欠かせません。スポンサークラブの会員がインターアクトクラブのアドバイザーを務めることもできます。



自分のクラブはスポンサーとなるのにふさわしいか？

どのロータリークラブもインターアクトクラブをスポンサーできますが、その前に、スポンサークラブとしてどのくらいの時間と労力を費やせるかを慎重に検討しましょう。

スポンサーとなる前に検討すべき点：

- 当クラブの目標に、青少年との協力および青少年のエンパワメントが含まれているか。
- 当クラブの貢献と成功をどのように測るか。
- 当クラブはインターアクトクラブにどのようなリソースを提供できるか。当クラブは、インターアクターが関心を持つような奉仕活動を実施する予定があるか。
- 当クラブの会員は、インターアクターのためになる知識、専門性、関心を持っているか。
- 当クラブ（または会員）は、学校や青少年コミュニティセンターと既に関係を持っているか。
- 当クラブは、インターアクトクラブへの支援を長期的に継続していく心構えがあるか。
- 当クラブには、インターアクトクラブへの支援のために時間を捧げられる会員が十分にいますか。
- 青少年の安全と幸せを守るために、青少年と協力する中で責任をどのように果たしていくか（スポンサーとしての責任を果たすには、ロータリーの青少年保護方針を遵守するために、青少年保護に関する研修とボランティアの審査を行う必要があります）。

また、スポンサークラブとなるかどうかの決定を行う上で、地区インターアクト委員長が助言や情報を提供できる場合もあります。さらに、インターアクトクラブをスポンサーしているほかのロータリークラブ／ローターアクトクラブを地区から紹介してもらい、話を聞くこともできます。

スポンサーとなっているほかのクラブに尋ねることのできる質問：

- インターアクトクラブの支援にどのくらいの時間がかかるか。
- インターアクトクラブを長期的かつ適切に支援していくには、スポンサークラブから何人の会員が関わる必要があるか。アドバイザーは何名必要か。
- スポンサークラブとして、インターアクトクラブのプロジェクトや活動をどのように支援しているか。
- スポンサークラブはどのような支援を行っているか。また、どのくらいの時間と費用がかかるか。
- スポンサークラブとしての最大の報いは何か。また、最大の課題は何か。
- クラブが学校を基盤とする場合、クラブの設立を学校にどのように提案できるか。また、アドバイザーとなる教師をどのように見つければよいか。
- ほかのロータリークラブ/ローターアクトクラブと共同でインターアクトクラブをスポンサーすることのメリットとデメリットは何か。

すべての質問への答えがすぐに見つからなくても問題ありません。インターアクトクラブのスポンサー（共同スポンサー）となることをクラブの会員が自信をもって承諾できるまで、話し合いを重ね、ほかのクラブから情報を集めましょう。クラブがすでにスポンサーとなっている場合も、上記の質問を定期的に検討することで、インターアクトクラブに十分なサポートを提供できているかどうかを確認できます。

こうした検討の後でスポンサークラブとなる意気込みが沸いたら、インターアクトクラブをサポートする計画を立てる時が来ていると言えるでしょう。

責務を分担する

あなたのクラブの会員数とリソースに応じて、いくつかの方法でインターアクトクラブの監督を行うことができます。インターアクトクラブを監督する責任は、次の委員会が担うとよいでしょう：

- クラブ社会奉仕委員会
- クラブ青少年奉仕委員会（青少年プログラムや青少年関連活動を担当する委員会）
- クラブのインターアクト委員会（特にクラブが二つ以上のインターアクトクラブをスポンサーしている場合）
- クラブ合同の委員会（ほかのロータリークラブ/ローターアクトクラブと共同スポンサーとなっている場合）

役立つ情報

インターアクトクラブのスポンサーとなるために、必ずしも新しいインターアクトクラブを結成する必要はありません。既存のインターアクトクラブの共同スポンサーとなれるだけでなく、スポンサークラブが解散したり、スポンサーとしての役割を果たせなくなったりした場合に、あなたのクラブがその役割を引き継ぐこともできます。



スポンサークラブの要件と責務

インターアクトクラブの参加を促し、協力し、支援する方法は数多くありますが、すべてのスポンサークラブは特定の要件を満たし、特定の責務を果たす必要があります。要件とは、国際ロータリーの方針を遵守するためにスポンサークラブが行うべきことです。責務とは、青少年のエンパワメントを図るためにスポンサークラブが引き受けるタスクです。

要件

スポンサークラブは、責任をもって青少年の安全を守り、アドバイザーを任命・支援し、インターアクトクラブの財務を監督します。

青少年の安全を守る

- ▶ 青少年による旅行、大人との協力、ソーシャルメディアの使用の際に、ロータリーの方針が守られていることを確認する（詳しい情報と関連資料は、[第6章](#)と「[ロータリー青少年保護の手引き](#)」を参照のこと）。
- ▶ クラブがすべての人を温かく迎え、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の声明と方針を作成していることを確認する。
- ▶ リスク管理計画を作成し、地区青少年保護役員への連絡方法を把握しておく。

アドバイザーを任命し、支援する

- ▶ インターアクトのアドバイザーを少なくとも一人見つけ、審査を行う。
- ▶ ロータリーの青少年保護方針を守る方法について、アドバイザーへの研修を行う。
- ▶ 「[インターアクトクラブ顧問を報告](#)」のフォームを使って、毎年7月1日までに国際ロータリーにアドバイザーの情報を報告する（インターアクトクラブに複数のアドバイザーがいる場合、主要なアドバイザー1名のみを報告）。アドバイザーの任期が1年を超える場合でも、フォームを毎年提出する必要がある。アドバイザーの名前と連絡先を報告することで、インターアクトクラブが引き続き活動中であることをロータリーに知らせることになる。

インターアクトクラブの財務を監督する

- ▶ インターアクトクラブの財務に関する明確な指針を作成する。この指針は、インターアクトクラブの全資金が、地元の法律や規制に従って責任と透明性をもって管理されるようにするものとする。署名人である大人がすべての銀行口座を監督する。アドバイザーは、スポンサークラブと協力して資金の管理を行う。
- ▶ スポンサークラブからの資金的サポートに関する明確な期待事項を定める（金額など）。活動資金を集める責任はインターアクトクラブが負うが、相互に合意すればスポンサークラブが資金面でのサポートを提供できる。インターアクトクラブは、時折、クラブの活動、奉仕プロジェクト、またはファンドレイジング（資金調達）のために支援を求めることができる。このため、インターアクトクラブがいつ、どのくらいの頻度で資金的サポートを求めることができるかを決めておく。インターアクトクラブの財務に関する詳細は、[ロータリー章典](#)の41.010.9.項を参照のこと。

役立つ情報

アドバイザーの連絡先情報が国際ロータリーに毎年報告されているインターアクトクラブは：

- ロータリーから重要な最新情報とリソースを受け取ることができます
- [インターアクト賞](#)に応募できます
- [ロータリーからの表彰](#)を受け取る資格が得られます

責務

スポンサークラブの責務の一つに、インターアクターとロータリーコミュニティをつなげることがあります。また、奉仕活動でインターアクターと協力し、クラブとその活動について周知を図り、活動の成功を一緒にお祝いします。

ロータリーのコミュニティに迎え入れる

- 会員の積極的な参加を促し、入会したいと思われるような活気に満ちたインターアクトクラブとなる方法について、アイデアを出し合う。ほかのクラブの成功例があれば紹介する。
- **ロータリーの活動分野**と関連し、インターアクターが関心を持つようなトピックについて話せる人を講演者として紹介する。
- スポンサークラブ、地区、ゾーンのイベントで、インターアクターに協力または参加してもらう。
- インターアクトクラブの例会に出席し、求められたらアドバイスや情報を提供する。
- インターアクターに**ロータリー青少年指導者養成 (RYLA) プログラム**と**ロータリー青少年交換**を紹介する。
- インターアクトを卒業した学友を、ロータリークラブやそのほかのロータリーのプログラムに紹介する。

奉仕活動でインターアクターと協力する

- 成功事例や奉仕活動で学んだことを分かちあう。
- インターアクトクラブが**ロータリーの重点分野**に沿って奉仕活動をし、そこから学べるよう支援する。
- インターアクターが主導する奉仕活動にボランティアとして参加する。
- インターアクターが毎年11月の「**世界インターアクト週間**」を祝うために、奉仕活動やそのほかの行事を計画するのを手伝う。地区のインターアクト研修行事に出席し、ほかのクラブの活動について学ぶ。

クラブの周知を図り、成果を祝う

- インターアクトクラブの活動を、クラブの会報、ソーシャルメディア、地区のウェブサイト等で紹介する。
- **インターアクト賞**に応募することを奨励する。
- **ロータリーからの表彰**を目指してクラブの目標を達成することを奨励する。
- インターアクターの活動成果を称える行事を開催する。



インターアクトのアドバイザー

インターアクトのアドバイザー（顧問）は、インターアクトクラブの日常的な運営をサポートする大人です。アドバイザーは、国際ロータリーとの連絡窓口となり、インターアクトに関わるすべての人が青少年保護に関するロータリーの方針に従っていることを確認します。また、学校と地域社会でインターアクトの擁護者となります。各インターアクトクラブには、少なくとも一人のアドバイザーが必要です。アドバイザーは、奉仕活動やリーダーシップ育成においてインターアクトを指導します。少なくとも1名のアドバイザーが必要ですが、複数の人が共同でアドバイザーとなることもできます。アドバイザーになれるのは、ロータリアン、ローターアクト、教師、親、または地域のボランティアです。青少年と接する人はすべて、適切な審査を受けなければなりません。審査の手続きについては、「[ロータリー青少年保護の手引き](#)」をご参照ください。

クラブが学校を基盤とする場合、インターアクトが学業や課外の義務を果たしていることを確認するため、教師がアドバイザーとなる必要があります。



インターアクトクラブのアドバイザーとしての適性

アドバイザーは、青少年による奉仕の力を信じ、インターアクトが未来のリーダーとなるための機会をもたらします。こうした機会は、インターアクトにとって地元や海外での初めての奉仕活動である場合もあります。このため、アドバイザーであることに伴う責任と義務について真剣に考えることが重要です。

考慮すべき点：

- 12～18歳の青少年と一緒に活動したことがあるか。
- 青少年にリーダーシップを発揮してもらい、そのサポート役にまわることが自分は得意か。
- 学校や青少年コミュニティセンターと関係を持っているか。
- クラブ例会への出席、奉仕学習プロジェクトの監督、長期的（1年またはそれ以上）な支援のために時間を費やせるか。
- 青少年の安全と幸せを守るために、青少年との協力においてさらなる責任を果たすことについて十分に検討したことがあるか（これには、特別な研修を受けること、ロータリーの青少年保護方針に従って審査を受けることが含まれる）。

役立つ情報

「私はロータリー会員ではないけれど、何ができるか」と考える方もいるでしょう。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、正会員ではない人も、名誉会員や支援者として一緒に活動することを歓迎しています。インターアクトクラブの結成を手伝ったり、既存のクラブのアドバイザーになったりする場合には、スポンサークラブにアドバイスしてもらいましょう。さらに、国際ロータリーには、青少年保護のガイドライン、奉仕学習に関する資料のほか、クラブ、アイデア、リソースの幅広いネットワークがあります。

インターアクトに関与している人（インターアクター、ロータリアン、ローターアクターなど）と話し、それぞれの体験について尋ねてみましょう。地区インターアクト委員長（いる場合）もアドバイザーに助言や情報を提供できます。

尋ねることのできる質問：

- ▶ インターアクトクラブのアドバイザーとしてどのくらいの時間を費やす必要があるか。
- ▶ アドバイザーとしての最大の報いとは何か。また、最大の課題は何か。
- ▶ スポンサークラブとの効果的な関係をどのように築くか。
- ▶ 過去にインターアクターはどのような活動を実施してきたか。アドバイザーとスポンサーはそれらの活動をどのように支援できるか。
- ▶ スポンサークラブはインターアクトクラブのためにどのくらいの時間と資金的サポートを提供してきたか。
- ▶ 複数の人がインターアクトクラブの共同アドバイザーとなることのメリットとデメリットは何か。

すべての答えが得られなくても問題ありません。アドバイザーになる決心がつくまで、いろいろな人と話をしてみましょう。あなたが既にアドバイザーである場合も、上記の質問を定期的に検討することで、インターアクトクラブに十分なサポートを提供できているかどうかを確認できます。

こうした検討の後で意欲が沸いたら、インターアクトクラブのアドバイザーとなる心構えが整ったと言えるでしょう。

アドバイザーの要件と責務

アドバイザーには、青少年の能力開発を導き、サポートできる機会があります。それと同時に、ロータリーの方針と責務を遵守するために満たさなければならない要件があります。

要件

アドバイザーは、責任をもって青少年の安全を守り、インターアクトクラブの財務を監督し、インターアクターへの指導と支援を行う必要があります。

青少年の安全を維持する

- ▶ 青少年による旅行、大人との協力、ソーシャルメディアの使用の際に、ロータリーの方針が守られていることを確認する（詳しい情報と関連リソースは、第6章と「[ロータリー青少年保護の手引き](#)」を参照のこと）。
- ▶ クラブがすべての人を温かく迎え、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の声明と方針を作成していることを確認する。
- ▶ 参加者の健康面や精神面に影響を及ぼす深刻な問題が発生した場合は、専門家に相談する。
- ▶ リスク管理計画を作成し、地区青少年保護役員への連絡方法を把握しておく。

クラブの財務を監督する

- スポンサークラブと協力してクラブの資金を管理する。スポンサークラブは、インターアクトクラブの財務の明確な指針を作成するべきです。署名人である大人がすべての銀行口座を監督する。
- インターアクトクラブによる募金や資金調達を支援する。インターアクトクラブは活動資金を自分たちで調達する責任を負うが、相互に合意した場合は、スポンサークラブが資金面で支援できる。インターアクトクラブは、時折、クラブの活動、奉仕プロジェクト、またはファンドレイジング（資金調達）のために支援を求めることができる。インターアクトクラブの財務に関する詳細は、[ロータリー章典](#)の41.010.9.項を参照のこと。

インターアクターへのメンタリングとサポートを行う

- インターアクトクラブの全例会に出席する。
- 毎年、二つの奉仕学習プロジェクトで指導を行う（一つは社会奉仕プロジェクト、もう一つは国際理解を促進するプロジェクト）。奉仕学習に関する詳細は、[第8章](#)およびラーニングセンターの[奉仕学習のコース](#)（無料）を参照してください。ラーニングセンターのコースを利用するのにロータリー会員である必要はありませんが、[My ROTARYのアカウントを作成](#)してログインする必要があります。

責務

アドバイザーは、クラブの運営と活動を導き、プロジェクトを援助し、ロータリーとのつながりを促し、社会的・人間的な学びを奨励する責任があります。

クラブの運営と活動を導く

- 「[インターアクトハンドブック：インターアクターの手引き](#)」をインターアクターに紹介する。
- 正確なクラブの記録とイベント、行事、報告期日の予定表を維持できるように援助する。
- クラブの資金管理を援助する。
- 役員を選出を監督し、選出が公正に行われるよう指導する。
- 例会に出席し、全会員が安全で尊重されていると感じられるようにする。

役立つ情報

クラブが学校を基盤とする場合、アドバイザー（教員）は、クラブが学校の方針に従っていることを確認する必要があります。

プロジェクトを後押しする

- ▶ インターアクターに「奉仕学習」を紹介する（第8章を参照）。
- ▶ 画期的なプロジェクトのアイデアをサポートする。
- ▶ プロジェクトの計画中に助言や支援を行う。
- ▶ プロジェクトに必要な機材を手配し、現場で活動の調整を行う。

ロータリーとのつながりを促す

- ▶ スポンサークラブとの密接な関係を維持する。
- ▶ ロータリー会員、学校関係者、地元の人びと、ほかのインターアクターに、インターアクトクラブとその活動を紹介する。
- ▶ RYLA、地区リーダーシップ育成行事、地元での研修の機会を紹介することで、インターアクトクラブのリーダーのための指導力育成研修を手配する。
- ▶ 活動事例、アイデア、方策を地区インターアクト委員長と紹介しあう。

社会的・人間的な学びを奨励する

- ▶ 困難な状況が生じた場合にインターアクターをサポートする。プロジェクトが計画通りに進まない場合など、問題解決のために手を差し伸べたいと感じることもあるでしょう。しかし、インターアクターの成長のためには、間違いや失敗から学ぶチャンスを与えることも必要です。
- ▶ 問題が生じたら、インターアクターが自力で問題解決の建設的な方法を見つけられるよう、サポートする。
- ▶ インターアクターを励まし、努力や成果を称える。

あなたの名前と連絡先がアドバイザー（顧問）として国際ロータリーに記録されていることを確認してください。国際ロータリーは、クラブやアドバイザーに役立つ情報や研修を提供しています。「[インターアクトクラブ顧問を報告](#)」のフォームで情報を提出することで、インターアクトが活動中であることが国際ロータリーに記録されます。アドバイザーの任期が1年を超える場合でも、フォームを毎年提出する必要があります。



状況に応じて役割を調整する

地域社会で利用できるリソースや支援体制は、インターアクトクラブのある地域社会によって異なります。このため、地域の状況に応じて、スポンサークラブとアドバイザーの役割と責務に調整を加えることもできます。少なくとも一つのロータリークラブがインターアクトの主要スポンサークラブとなる必要があり、少なくとも一人の適格な大人がアドバイザーとなってインターアクトの日々の活動を監督する必要がありますが、それ以外の点で調整を加えても構いません。

以下はその例です：

- 複数の人が共同でアドバイザーとなる
- スポンサークラブの会員がインターアクトのアドバイザーを務める。
- スポンサークラブを代表してスポンサーの要件を実行する1名の会員または委員会を任命する。
- ほかのロータリークラブまたはローターアクトクラブと共同でスポンサーする。ロータリーの方針では、地区ガバナーが許可すれば、最大で3つのクラブがインターアクトクラブの共同スポンサーとなることが認められている（一つのロータリークラブが主要スポンサーとなること）。

インターアクトクラブが成功するかどうかは、インターアクターのニーズと能力に合った体験を関係者全員で生み出すことができるかどうかにかかっています。インターアクトクラブ、スポンサークラブ、アドバイザーが前向きで実り多い関係を築くために、各役割について十分に理解しておくようにしてください。

第5章

青少年との協力

青少年と一緒に活動することは、楽しく、やりがいがあり、報いが多いものです。ファシリテーター、支援者、相談相手、メンターとしての役割を担うことで、青少年がリーダーシップを発揮できる機会を作り出すことができます。インターアクトクラブでは、青少年が自分を発見し、どのように社会に貢献したいか、どのような変化をもたらしたいかを見出すことができます。

クラブの運営に焦点を当てる前に、青少年の「育成」という概念について考え、どのようなアプローチでインターアクターをサポートできるかを考えてみましょう。



青少年の声を広げ、大人とのパートナーシップを促す

青少年の声を広げるとは、青少年のアイデア、意見、行動を取り入れることを意味します。これは、青少年に影響を与え、その人生の形成にかかわる意思決定に青少年自身が関与できるようにすることです。

以下はその例です：

- インターアクターが自分たちでクラブ例会を企画・運営する。
- インターアクターが自分たちにとって意義ある奉仕プロジェクトを選ぶ。
- クラブ役員の研修方法についてインターアクターが意見を述べられるようにする。

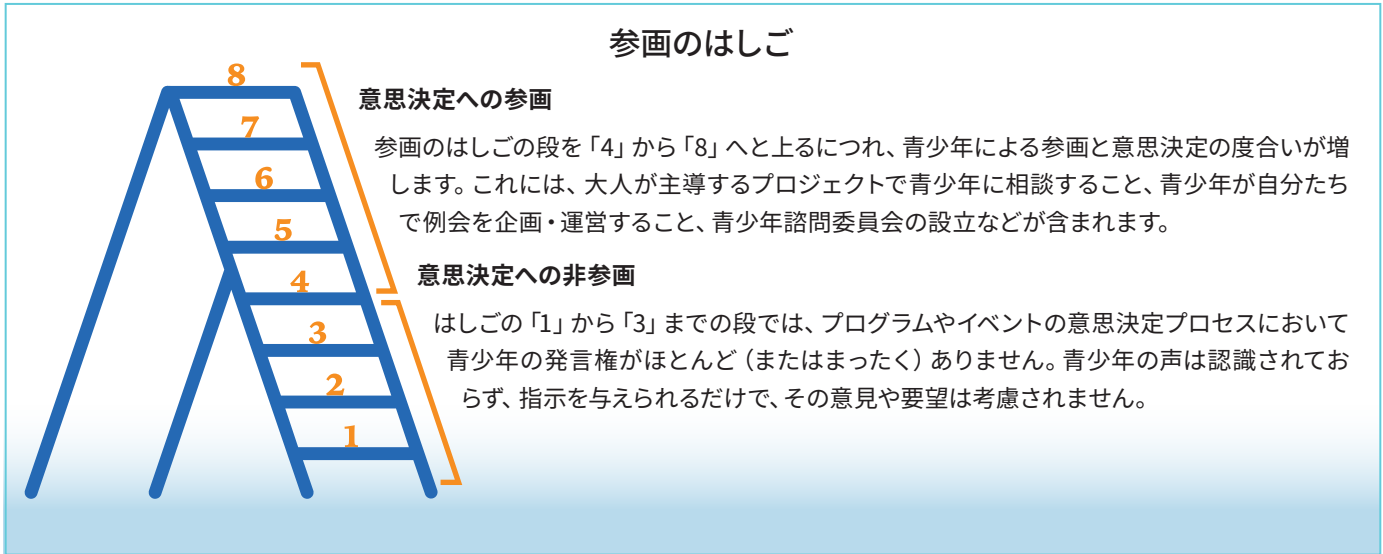
大人とのパートナーシップを促すとは、青少年の声と参画に価値を置く世代間の協力関係を意味します。そのためには、積極的に耳を傾け、大人も青少年も貢献し、互いから学ぶことができるという認識が必要とされます。これは、互いに柔軟かつ誠実に接し、青少年と大人の文化の違いを受け入れることです。適切であれば、大人が一步下がって見守り、青少年がリーダーシップ力を身につけられるよう支援します。わくわくするような体験と新しいアイデアを組み合わせることで、青少年と大人のパートナーシップを通じて地元や世界に変化をもたらすことができます。

以下はその例です：

- 青少年と大人の両方が、奉仕プロジェクトのアイデアを出し合い、協力して実施し、そこから学ぶ。
- 参加する大人と対等のパートナーとして、青少年がロータリークラブの委員会や地区委員会のメンバーとなる。

青少年と大人のパートナーシップ：参画の度合を測る「参画のはしご」

社会学者ロジャー・ハートは、青少年の参加について考えるための方法を開発し、「はしご」の例を使って説明しました。以下の参画レベルは、ハートの『**Children's Participation: From Tokenism to Citizenship**』（子どもの参画：トークニズムから市民としての参画へ）を参考としています。



8. 青少年が主体となって活動し、意思決定を行い、対等なパートナーとして大人と協力する。例えば、インターアクターが地域社会の問題を見つけ、アドバイザーと一緒に調査し、奉仕プロジェクトの計画についてスポンサークラブと地元の協力団体にプレゼンテーションを行った上で、インターアクトクラブがこれらと協力してプロジェクトを実施する。
7. 青少年が主体となって活動を行い、大人が意見や提案を述べることは控える。例えば、インターアクターが自分たちでクラブ例会を企画・運営し、役員を選出する。
6. 大人が開始した活動において青少年と意思決定を共有する。例えば、共同スポンサークラブが小児病院に寄贈する図書収集活動を実施する際、図書の収集方法と入院患者への配布方法をインターアクターに決めてもらう。
5. 大人が主導する活動において青少年の意見を聞き、それをどう取り入れたかを青少年に伝える。例えば、スポンサークラブが会員とインターアクターの両方を対象にアンケート調査を行って次回のプロジェクトを選ぶ。
4. 大人が主導する活動において青少年にタスクが割り当てられ、青少年はその目的を理解した上で参加を選択する。例えば、スポンサークラブが公園でのゴミ拾いをインターアクターに依頼し、インターアクターは環境への関心から参加を決定する。
3. 青少年は参加するが、意思決定においてその意見はほとんど取り入れられず、決定は大人が行う。例えば、ロータリー地区がパネル討論にインターアクターを含めるが、インターアクターがアイデアを出す機会を与えない。
2. 青少年が参加するが、青少年と情報を共有したり、相談したりすることはない。例えば、ロータリーアクターがロータリーアクトの行事にインターアクターを招いて歌を歌ってもらうが、行事の目的については一切説明しない。
1. 青少年の考えやアイデアを使ったが、大人はその理由を青少年に説明することはない。例えば、環境に関する絵を描くようロータリアンがインターアクターに依頼する一方で、その絵がロータリー行事での展示用であることは一切説明しない。

意思決定にインターアクターを含めることで、青少年のリーダーシップ力を育て、奉仕プロジェクトと地域社会に積極的に貢献するチャンスを与えることができます。



積極的な青少年育成

積極的な青少年育成は、好ましくない行動や危険な行動をなくすことに焦点を当てるのではなく、青少年が自分と社会の両方に役立つ能力を身につけるのを援助することを目指すものです。心理学者のリチャード M. ラーナーとジャクリーヌ V. ラーナーによる「積極的な青少年育成のモデル」(Model of Positive Youth Development) は、広く認識されているアプローチです。ラーナーは、青少年が生産的で健康的な人生を送るために養う必要がある心理的、行動的、社会的な特性として、能力、自信、つながり、人格、配慮と思いやりを挙げています。これらの特性によって、青少年は人格を育み、社会に貢献できます。スポンサーとアドバイザーは、例会や奉仕学習プロジェクトでこれらの特性を育む環境を生み出すことができます。

大人は、インターアクターが以下の特性を養えるよう援助すべきです：

- **能力**：学校やほかの場所で機能できる力
- **自信**：自尊心があり、自分の能力を信じていること
- **つながり**：ほかの人との結びつきやグループへの帰属感
- **人格**：自分に責任を持ち、中核的価値観を持っていること
- **配慮と思いやり**：他者への共感を持ち、社会問題を理解すること

これらの特性は、ロータリーが目指す「超我の奉仕」の中核でもあります。青少年は、クラブを結成して運営し、奉仕プロジェクトを実施することで、**能力と自信**を育みます。自分のスキルを土台として、新たなスキルを身につけます。**つながり**は、ほかのインターアクター、アドバイザー、スポンサークラブ、地元団体との関係の中で培われます。インターアクターがクラブや奉仕学習プロジェクトで責任とリーダー的役割を担うことで、**人格**が育まれ、中核的な価値観が形づくられます。地域社会やより広い世界のニーズについて学ぶことで、インターアクターは**配慮と思いやり**の心を育みます。これらの特性を身につけることで、青少年は世界に変化をもたらすことに貢献できます。

役立つ情報

第8章に紹介されている奉仕学習のモデルは、これらのアイデアを実践に移すためのものです。ロータリーのラーニングセンターにある**奉仕学習のコース**もご利用いただけます。



理論を実践に移す

青少年の声、青少年と大人のパートナーシップ、積極的な青少年育成の概念をインターアクトクラブに取り入れることで、インターアクターが学び、人間として成長する場を提供できます。

第6章

安全とインクルージョン

インターアクトクラブを通じたすべての学び、スキル習得、楽しさは、クラブが安全で快適、かつインクルーシブ（包摂的）であって初めて可能となります。スポンサークラブとアドバイザーは、インターアクターを守る義務があります。

本章では、青少年を守るためのスポンサーとアドバイザーの役割、また、ほかの人が果たすべき役割に関するリソースやサポートについてご紹介します。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努めている。ロータリーの会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない。

アドバイザーとスポンサークラブは、すべてのインターアクターにとって安全な環境をつくり、これを維持する責任を担います。また、身体的、性的、心理的な虐待やハラスメントからインターアクターを保護する役割も担います。地区の手続き、国際ロータリーの方針、地元の法律と規制など、あらゆる青少年保護方針が確実に守られるようにするには、青少年プログラムへの強力な支援と効果的な管理が不可欠です。

ロータリーは、アドバイザーとスポンサー、地区リーダーがロータリーの青少年保護方針を実行できるよう、以下のような資料や情報を提供しています。青少年と関わる活動をする前に、以下の資料を読み、内容を理解しておくようにしてください。

- ▶ **ロータリー青少年保護の手引き**
- ▶ **青少年プログラム参加者の保護**（オンラインコース）
- ▶ **電子的方法／インターネットの使用に関する安全上の検討事項**
- ▶ **危機管理計画の策定**
- ▶ **ロータリー章典の第2.120.節**

安全な環境を築き、維持するための手続きを整えておきましょう。インターアクターと共に以下のようなことができます：

- ▶ インターアクターが、「四つのテスト」を基にしてクラブ独自の行動規範を作成する。これには、身体的接触、言葉によるやり取り、Eメールやインターネットでのやり取りを含め、容認される行為と容認されない行為に関する明確な約束事項を盛り込みます。詳しくは、[ロータリー青少年保護の手引き](#)の第4章をご覧ください。
- ▶ クラブでは敬意を欠く行為は許されず、互いを尊重する環境づくりは全会員の責務であることを明確に説明する。
- ▶ 敬意を欠く行為があった場合は、無視せずにアドバイザー、スポンサークラブ、または地区リーダーに報告できるようインターアクターをサポートする。

インターアクターの行動規範の例

インターアクターとして、私は

1. ロータリーの青少年保護方針に従います
2. 人種、民族、性的指向、背景にかかわらず、ほかの人に敬意を持って接します
3. 会員が身体的、言語的、性的ハラスメントや虐待の危険を感じることのない環境を作ります



青少年の安全におけるみんなの役割

インターアクトクラブと関わるすべてのアドバイザーとスポンサークラブ会員は、ロータリーの青少年保護方針を理解し、スポンサークラブ会長と協力して、虐待またはハラスメントの申し立てがあった場合に地元の警察、ロータリー地区リーダー、国際ロータリーに速やかに連絡しなければなりません。

青少年が関わる身体的、性的、精神的な不適切行為や虐待の調査には、警察が関与しなければなりません。青少年保護に関する法律をしっかりと確認し、スポンサークラブは必要に応じてこれを青少年保護方針に反映させることができます。また、青少年活動を行っているほかの団体に相談し、青少年の保護や法律の遵守のために何を行っているかを教えてもらうのも一つの案です。

地区リーダーからも役立つ情報が得られるかもしれません。青少年保護について地区独自の方針が存在するかどうか、特にインターアクトについて留意すべき方針があるかどうかを、地区青少年保護役員と地区ガバナーに尋ねましょう。

国際ロータリーの担当職員は、インターアクト、RYLA、ロータリー青少年交換を通じて青少年と接するクラブと地区に、青少年保護に関するさまざまなサポートを提供します。職員には以下の責務があります：

- ロータリーの方針が遵守されるようにする
- 地区が他国のパートナーと連絡が取れるよう援助する
- 地区と地元警察が申し立てを調査するよう確認する
- メディアからの問い合わせへの対応を援助する
- 青少年プログラムの参加者が関与する困難な状況を抱えているクラブと地区に、一般的な指針を提供する

ロータリーの方針についてご不明な点がありましたら、国際ロータリーの青少年保護担当部 (youthprotection@rotary.org) にご連絡ください。

アドバイザーとインターアクターは、インターアクトクラブがロータリーの青少年保護方針に従うようにする責任があります。アドバイザーはまた、インターアクターが安全な環境をつくれるよう協力します。

安全な環境は、誰もが自分の言動に責任を持ち、ほかの人にも同じ基準を求めるという責任ある文化から生まれます。ロータリーの基本理念の一つである「**四つのテスト**」には、私たちが考え、言動をとる際に自問すべき以下の四つの問いが含まれています。この「四つのテスト」に沿って、すべての人に対する安全、礼儀、尊厳、尊重を重んじる環境をクラブでつくりましょう。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



青少年保護に関する懸念を報告する

たとえ明確なルールがあっても、虐待などの不適切な行為はどんな団体やプログラムでも起こる可能性があります。ロータリーの方針では、青少年が関わる性的虐待またはハラスメントに関するすべての申し立ては、スポンサーとアドバイザーが地元警察に連絡することが義務付けられています。



インターアクトに関わる大人または青少年による不適切な言動の申し立ては、虐待またはハラスメントの報告につながる可能性があります。虐待が疑われる場合、または実際に起きたことに気づいた場合は、ロータリーの方針に従い、当該ロータリー会員またはボランティアを青少年との一切の接触から直ちに引き離すとともに、地元の警察に連絡し、72時間以内にロータリー職員に連絡してください。報告の方法は、青少年保護のページ (my.rotary.org/youth-protection) をご覧ください（電話、Eメール、[オンラインのフォーム](#)のいずれかの方法で報告できます）。

インターアクターにもこの情報を提供し、懸念がある場合に対処できるようにしておく必要があります。不適切な行為があった場合には、以下の方法で対処できることをインターアクターに伝えてください：

- ▶ **信頼できる大人に相談する。** インターアクターは、親・保護者、インターアクトアドバイザー、スポンサークラブ会員、メンター、または地区リーダーに相談し、いつ、どのようなことが起こり、誰が関わっていたのかを詳しく説明することができます。
- ▶ **オンラインで報告する。** 知り合いの大人に相談しづらく、匿名で報告したいとインターアクターが感じる場合、ロータリーの [青少年保護のためのオンライン報告フォーム](#) を利用できます。青少年保護のページ (my.rotary.org/youth-protection) に報告用リンクがあり、電話、Eメール、オンラインのフォームのいずれかの方法で報告する方法が説明されています。

青少年プログラム参加者とすべての青少年の安全と福利はロータリーの最優先事項であり、ロータリーは青少年保護に関するすべての懸念を真剣に受け止めます。インターアクターやほかの青少年を守る方法について質問や懸念がある場合は、[青少年保護のページ](mailto:youthprotection@rotary.org)を確認するか、youthprotection@rotary.orgまでご連絡ください。



オンラインの安全性

第3章に説明されているように、インターアクトクラブはオンラインで例会を行うことができます。オンラインで例会を行う場合、使用するオンラインツールの安全機能を確認しましょう。クラブの会員間だけでなく、会員と大人との間のオンラインのコミュニケーションに関するガイドラインも作成してください。

ソーシャルメディアも、ほかの人とつながって情報を共有できる便利な手段となります。ただし、ソーシャルメディアを利用するときは以下のことに注意してください：

- ▶ インターアクトクラブ会員の写真や個人情報を本人とその親・保護者の許可なしに投稿するべきではありません。
- ▶ インターアクトクラブの会員をタグ付けしたり、その会員のユーザーネームやハンドルネームをインターアクトクラブやスポンサークラブのソーシャルメディアページで共有したりするべきではありません。これを行うと、青少年とその個人情報、その関心やよく行く場所などが多くの人の目にとまり、青少年が他人や望まれない人から連絡を受けることになりかねません。



インクルーシブなクラブづくり

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) を受容し、行動で示すべきだと信じています。以下の原則は、活気ある快適なクラブづくりのカギとなります。

インターアクターがクラブ独自のDEIの声明と方針を作成することを奨励しましょう。現在と将来の会員にとってインクルーシブなクラブとなるよう、クラブの全員が納得できる声明を協力して作成することができます。

以下のことを考えながら、DEIの原則をクラブの価値観に組み入れてください。

- ▶ **歓迎と自己紹介：**
 - 会員に自己紹介してもらいます。ほかの人を紹介する場合には、その人の個性やアイデンティティを尊重し、言葉づかいに気をつけます。
 - 自分にとって「多様性、公平さ、インクルージョン」が何を意味するかを会員に尋ね、協力してクラブのDEI声明を作成してもらいます。
- ▶ **リフレクション (内省)：**
 - 例会でDEIについてじっくりと話し合う時間を設けます。クラブが起草したDEI声明をみんなで読み、DEIを実践するためにクラブで何ができるかを一緒に考えてもらいます。
- ▶ **フィードバック：**
 - 会員から毎年フィードバック (意見や感想) を集めます。寄せられたフィードバックに基づいて、クラブのDEI声明と現実との間に隔たりがあるかどうかを確認し、次年度に向けて方針を追加または変更すべきかどうかを検討します。変更を加える前に、全会員が同意していることを確かめ、クラブ定款とクラブ細則も確認します。

役立つ情報

「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」とは？

- **多様性 (Diversity)：**年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認への言及にかかわらず、あらゆる背景、経験、アイデンティティをもつ人
- **公平さ (Equity)：**参加者が快適かつ生産的な体験をできるよう、さまざまなレベルの支援、機会、リソースを提供する方法について慎重に検討すること
- **インクルージョン (Inclusion)：**すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を創造すること

多様性・公平さ・ インクルージョンへの ロータリーのコミットメント



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

◆ 会員募集：

- ジェンダーや年齢、地域（地域社会基盤の場合）など、クラブにまだいない会員や少ない会員を特定し、そのような会員を募る方法を考えましょう。
- 入会のプロセスは、誰にとっても公平あり、偏見のないものである必要があります。

役立つ情報

DEIの取り組みでサポートが必要ですか？

DEIについて情報や支援を提供できる委員会が地区にあるかもしれません。詳しくは、スポンサークラブの会長を通じて地区にお問い合わせください。国際ロータリーにはDEI関連のオンラインコースがあるほか、rotary.org/deiにも資料が掲載されています。ご質問がある場合は、dei.inquiries@rotary.orgにもお問い合わせいただけます。

奉仕プロジェクト：

- すべての会員が参加可能な奉仕プロジェクトを計画します。
- 奉仕プロジェクトで取り上げる問題やトピックに対し、全会員に抵抗感がないことを確かめます。

研修：

- 新会員のためのオリエンテーションなど、インターアクトクラブで実施するすべての研修は、DEIを土台としたものにします。

交流活動：

- 身体的、認知的、文化的なニーズなどを考慮し、誰もが平等に参加できるインクルーシブな交流活動を企画します。
- 交流活動の内容によっては、抵抗を感じる人や参加できない人がいることにも留意してください。そのような懸念がある場合、その交流行事は自由参加とし、ほかの交流の機会を設けることを検討します。

会場：

- 利用しやすい会場を選びます。プロジェクト、研修行事、懇親会、例会などの会場は、身体が不自由な人も利用しやすく、青少年が簡単に行ける場所である必要があります。

第7章

クラブの土台づくり

インターアクターは奉仕プロジェクトなどの活動をすぐにでも始めたいと気持ちがはやるかもしれません。まずは時間をかけて土台を整えることを奨励しましょう。これは、クラブを成功に導く上で重要となります。本章では、インターアクターがクラブの組織づくり、細則の作成、役員の選出、委員会の設置、会員の募集と維持をどのように行えるかを詳しく説明します。



定款と細則

インターアクトクラブの定款と細則は、クラブの構成と運営方法を示すものです。すべてのインターアクトクラブは、**標準インターアクトクラブ定款**をそのまま採用する必要があります。世界共通の定款により、世界すべてのインターアクトクラブが同じ目標に向かって結束できます。クラブ定款の内容を確認したら、インターアクターが細則を独自にカスタマイズできます。**推奨インターアクトクラブ細則**に目を通し、クラブのニーズに合わせて修正することをインターアクターに提案しましょう。細則では、設置する委員会、例会の頻度、会費など、クラブに適した慣習をインターアクター自らが定めることができます。

本章を読み進める際には、標準インターアクトクラブ定款と推奨インターアクトクラブ細則を適宜参照してください。本章で扱うトピックは、細則に含める内容をインターアクターが決めるのを支援する上で役立ちます。



クラブのリーダー

インターアクトでは、青少年が主体となってクラブの活動を決めます。インターアクター同士が協力してクラブの優先事項を決め、プロジェクトの計画を立て、奉仕活動に取り組みます。

会員が選出した理事会がインターアクトクラブを率いることとなります。理事会は定期的に会合を開いてクラブの活動について話し合い、クラブの運営や活動に関する年次報告書を作成してアドバイザー、スポンサークラブ、地区インターアクト委員会に提出します。

理事会のメンバーは、クラブ細則で別段の定めがない限り、1年の任期で選出されます（クラブの選挙については、本章の後半で詳しく説明します）。理事会には、会長、副会長、会計、書記を含める必要があります。

役立つ情報

理事会の全メンバーがそれぞれの責務を担っていますが、協力することも期待されています。このため、各役員が気持ちよく協力できる環境をつくるのが大切です。互いを知り合うために親睦を育む活動を行うことを奨励しましょう（ゲーム大会、かくし芸大会、テーマを決めた食事会など）。

地区がインターアクトクラブのリーダー向けの研修を実施しているかどうかを尋ね、実施していない場合は、会長エレクト研修セミナー（次期ロータリークラブ会長のためのセミナー）など、地区の研修行事に参加できるかどうかを問い合わせてみましょう。アドバイザーは、この研修やインターアクター向けのその他の機会について学ぶことができます（第10章で詳しく説明します）。16歳以上のインターアクターは、親・保護者の許可を得れば、ラーニングセンターの「**クラブのリーダーシップ**」にある一部のコースを利用できます。

通常、役員は以下の責務を担います。

会長：

- 例会を監督し、進行する
- クリエイティブな例会プログラムを企画する
- 発表者、パネルディスカッション、その他の活動を手配する
- 理事会の承認を得て、常任委員会と特別委員会を任命する
- スポンサークラブ、アドバイザー、地区インターアクト委員会と定期的に連絡を取り合う
- クラブのDEI声明を推進する

会長は、会員の関心や能力、経験に基づき、必要に応じて責務をほかの会員に手伝ってもらうことができます。例えば、環境問題に熱心な会員がいる場合、その会員が地元の専門家を招いたパネルディスカッションを企画することができます。タスクを分担することで、会員のやる気を引き出し、リーダーシップを発揮する機会を生み出すことができます。

副会長：

- 会長が不在の場合、例会と理事会会合を進行する
- 会長の指示のもとで特別な任務を実行する
- クラブ委員会の活動の調整を測り、委員会の活動内容を随時把握する

会計：

- アドバイザーおよびスポンサークラブと協力してすべての資金を監督する
- 財務委員会の委員長となる
- 理事会、アドバイザー、スポンサークラブの監督のもと、資金の支出を管理する

幹事：

- クラブの全記録をつける
- 例会や奉仕プロジェクトの出欠を確認する
- クラブと理事会のすべての会合の議事録を作る（「議事録」とは、例会・会合の要点や発言内容と発言者を記録したもの。このような議事録は、クラブでのタスク分担、活動、責任者、目標などを確認する上で役立ちます）。



クラブの委員会

委員会はクラブが目標を達成するのを援助する上で重要な役割を担っています。通常、インターアクトクラブでは次の委員会を設置します。

国際理解委員会：クラブ、学校、地域社会における国際理解を深めるために、毎年少なくとも1件の主な活動を計画。クラブ会員の全員またはほぼ全員がこの活動に参加するべきです。

奉仕委員会：学校または地域社会のために毎年少なくとも1件の奉仕プロジェクトを計画。クラブ会員の全員またはほぼ全員がこの活動に参加するべきです。

財務委員会：クラブ活動のための資金調達を計画。

クラブ委員会：クラブ幹事とともに、出席記録をつけ、会員増強策を立て、クラブの最新情報について連絡を行い、クラブの活動について多くの人に紹介します。

必要に応じて追加の委員会を任命できます。クラブ細則には、各委員会の責務を列挙し、各委員会が定期的に会合することを明記する必要があります。

クラブはまた、各委員会の委員長を選ぶことができます（クラブ細則にそれが記載されている場合）。各委員会活動の進展を理事会に報告し、例会で最新情報を提供します。



選挙

クラブは理事と役員を選出し、必要であれば各委員会の委員長を毎年選出します。インターアクターは、地元の習慣に合うように選出方法を柔軟に決めることができます。

選挙を実施するときは、次のことに留意してください。

- 選出には、候補者が過半数の票を得る必要があります。
- 候補者は、優良な現会員である必要があります。
- 投票はすべて匿名で行います。
- 選挙の手順をクラブ細則に記録するべきです。

各候補者に関する情報は、以下のような方法でインターアクターに伝えることができます：

- オンラインフォームを使って立候補を受け付け、候補者に各自の目標を記入してもらう。各候補者の目標をクラブの全会員が読んだ上で、投票を行う。
- 理事または役員として何を達成したいのかについて、各候補者がスピーチを行い、出席した会員が無記名で投票する。
- クラブのビジョンと目標を達成する方法について候補者が話した動画を撮影し、会員がそれを見てオンラインで投票する。



目標の設定

クラブのリーダーと委員会が決まったら、インターアクターたちが目標を立て始めることができます。目標を毎年立てることで、クラブの方向性が定まり、目標達成に向けて励むことができます。

インターアクターは、目標を立てる際に**補遺2**「目標設定に役立つ質問」、**補遺3**「インターアクトクラブ向けの表彰」、**補遺4**「具体的な目標の設定」を活用できます。また、「**インターアクトハンドブック：インターアクターの手引き**」にある情報も参照できます。

インターアクトクラブ向けのロータリーの表彰

国際ロータリーは毎年、クラブとロータリーの両方を強化する特定の目標を達成したインターアクトクラブを表彰しています。この表彰は長年、「ロータリー賞（インターアクトクラブ向け）」と呼ばれてきました。2024-25年度より、この賞は「インターアクトクラブ優秀賞」に改称されます。この賞の受賞を目指すことで、クラブが年次目標を立て、その達成に向けて活動できます。詳しくは以下の資料をご参照ください。

- ▶ **目標と達成方法に関する説明：**インターアクターは、この資料をダウンロードして、受賞のために達成すべき一連の目標を確認した上で、その中から目標を選んで達成期日を定めます。
- ▶ **推薦フォーム：**インターアクターは、スポンサークラブ役員またはアドバイザーと協力して、8月15日までに推薦フォームを提出します。



活動資金の調達

クラブが活動し、目標を達成するには、資金が必要となる場合があります。これには、奉仕活動や例会に必要な備品、推進用資料などがあります（例：クラブのTシャツ）。クラブ会計の主導の下、財務委員会とともに資金調達の計画を立てましょう。資金調達の方法には以下のようなものがあります。

- ▶ **年会費：**細則に定めた通り、管理費を賄うためにのみ会員から少額の会費を集めることもできます。会費が必要かどうか、また、会費が理由で入会できない人が出る可能性があるどうかを検討してください。クラブが学校を基盤とする場合、学校の方針で会費が認められないこともあります。
- ▶ **スポンサークラブからのサポート：**スポンサーとなっているロータリークラブやローターアクトクラブに最小限の資金援助を要請できる場合があります。

- ▶ **活動資金の調達**：クラブは、そのほかの方法で活動資金を募ることができます。資金調達の計画を立てる際にインターアクターが考慮すべきことは、以下の通りです：
 - クリエイティブになる。会員が持つスキル、才能、人脈をどのように活かせるでしょうか。
 - 詳細な計画を立てる。地元の人びとや企業・団体から資金を募る場合は、資金の活用目的と、活動がもたらすインパクトがどのようなものであるかを具体的に伝えます。
 - 新しいアイデアを取り入れる。インターアクターは、スポンサークラブ、地域の非営利団体、地区内の別のインターアクターから資金調達のアイデアを出してもらうことができます。



充実した例会の運営

例会は会員が集い、ニュースやお知らせをシェアし、奉仕活動やイベントを計画して楽しむための機会です。また、ある分野の専門家や地元のリーダーを招いて講話してもらうこともできます（青少年と接するための審査を受けた人であること）。

クラブはまず、例会を行う頻度と場所を決定します。クラブ細則に例会の頻度を必ず記載してください。また、会員の出席をどのくらい重視するかも決める必要があります。会員が例会やプロジェクトを欠席できる回数、欠席した場合のメイクアップの方法などを決めておくとい良いでしょう。

補遺5「例会の議題の見本」を参照してください。

役立つ情報

活動資金をクラブが調達する方法については、「**青少年向け：奉仕学習ガイド**」のオンラインコースをご参照ください。

アドバイザーとスポンサークラブは、銀行口座の開設方法やクラブ活動資金の管理方法についてクラブにアドバイスできます。これらの責務については**第4章**をご覧ください。



新会員の入会

新会員の入会により、クラブが成長し、地域社会により大きなインパクトを与えることができます。入会手続きを決める際には、以下のアイデアを参考にしてください。

- ▶ 全会員が入会候補者を推薦できるようにする。
- ▶ クラブへの入会申し込み手続きを決める。
- ▶ ほかのインターアクトクラブが移籍会員や元会員を推薦できるようにする。
- ▶ 入会が承認されたかどうかを、できるだけ早く入会候補者に伝える。入会候補者の審査と決定に必要な日数を、クラブ細則に記載する。
- ▶ 新会員の承認が公正、公平、インクルーシブに行われるよう、承認の基準を作成し、クラブの**DEIの声明**にこの基準を反映させる。



会員の参加促進

新会員が入会したら、すぐにクラブ活動に参加してもらうことが大切です。そのため
のヒントをご紹介します：

- ▶ オリエンテーションを開き、クラブの主な活動や委員会への参加など、新
会員が参加できるさまざまな活動を説明する。
- ▶ どのような奉仕活動や親睦活動に関心があるかを新会員に尋ね、アイ
デアを提案してもらう。
- ▶ 新会員と経験豊富なクラブ会員を組み合わせ、メンタリングを行い、新会
員がクラブに溶け込めるようにする。

会員のやる気を高める

会員を維持する最良の方法は、継続的な参加です。そのためのアイデアを以下に
ご紹介します：

- ▶ 会員から定期的に意見や提案を集め、必要に応じてクラブ運営方法に調
整を加える（その場合はクラブ細則も更新する）。
- ▶ 全会員が奉仕活動や親睦活動のアイデアを提案できるようにする。
- ▶ 今後の活動予定を全会員に伝える。
- ▶ 会員同士の交流を深めるための交流行事や簡単なアクティビティを企画す
る。
- ▶ クラブでリーダーシップを発揮することを奨励する。

そのほかのロータリーの機会

ロータリーでは、インターアクト以外にも若い世代が参加できるさまざまな機会
があります。スポンサークラブとアドバイザーがこれらの機会を紹介することで、
インターアクターはクラブやロータリーへの参加意欲を持ち続けることができま
す。地区研修行事への参加を呼びかけ、**ロータリー青少年指導者養成プログラ
ム (RYLA)**、**ロータリー青少年交換**など、ロータリーに参加できる機会を紹介
しましょう。

クラブを推進する方法については、**第9章**で詳しく説明します。

役立つ情報

青少年と接するために地元の法律に沿って審査を受けたスポンサークラブの会員（少なくとも1名）が、インターアクトクラブの例会と理事会に出席するべきです。アドバイザーは、例会や理事会がいつ、どこで行われるかをスポンサークラブに随時伝える必要があります。

これらの会議はオンラインで行うこともできます。ただし、オンラインの場合でも、しっかりと議題を準備し、少なくとも1名のスポンサークラブ会員が出席する必要があります。オンライン例会の安全に関する留意点については、**第6章**を参照してください。

第8章

クラブでの充実した体験

会員は、インターアクトクラブを通じて奉仕活動に参加し、国際理解を推進し、リーダーシップスキルを磨くことができます。インターアクトクラブは、毎年少なくとも二つの活動を実施します（一つは学校または地域社会の支援を行う活動、もう一つは国際理解を推進する活動）。ただし、クラブはそれ以上に大きなことを成し遂げられる可能性があります。会員は、楽しみながら関心のあるテーマに取り組み、社会に貢献することの意義を見出すことができます。本章では、クラブ活動の基本的なステップを説明し、インターアクターが充実した体験をしながらインパクトをもたらすためのアイデアを紹介します。

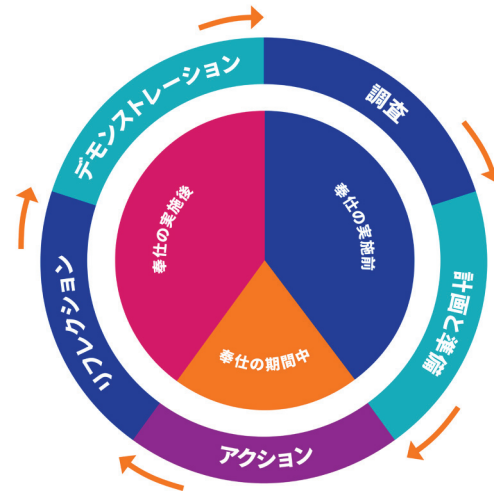


奉仕学習

効果的な奉仕プロジェクトには準備と計画が必要です。インターアクターによるプロジェクトを成功に導くために、「奉仕学習」のアプローチを用いることが奨励されています。「奉仕学習」は社会奉仕と学習目標を組み合わせたもので、青少年が実社会でリーダーシップスキルを身につける機会となります。

奉仕学習には5つのステップがあります。

1. **調査**: 調査や研究を通じて、地域社会の真のニーズとそのニーズを引き起こす要因を特定します。
2. **計画と準備**: インターアクターが実施した調査に基づいて、クラブが明確な目標、時期・期限、役割、フォローアップ計画を立て、現実的で有意義な奉仕プロジェクトを計画します。
3. **行動**: クラブは、直接的、間接的、またはアドボカシー活動に基づく奉仕を通じて計画を実施します。また、このステップを通じて、インターアクターがプロジェクトとその影響に関するデータを収集します。
4. **リフレクション（内省）**: 何が効果的だったか、または効果的でなかったかなど、学んだことをインターアクターが振り返ります。リフレクションは「行動」のステップの後だけでなく、奉仕学習のすべてのステップにおいて重要です。
5. **デモンストレーション**: インターアクターが、活動から学んだことと地域社会にもたらしたインパクトを、活動を支援してくれた人たちに説明します。その後、リフレクション（内省）を通じて発見したことや学んだことに基づいて、提案を行います。クラブの活動成果を紹介する方法については、[第9章](#)で詳しく説明します。



奉仕学習を通じた学びの旅

奉仕学習の上記の5つのステップは、奉仕学習を通じた学びの旅の一部となります。国際ロータリーは **National Youth Leadership Council** (青少年による奉仕学習分野の専門団体) と協力し、奉仕学習の各段階を通じてインターアクター、スポンサークラブ、アドバイザーを支援するための一連のリソースを作成しました。詳しくは、ロータリーのラーニングセンターにある「**奉仕学習：(アドバイザー向け)**」の学習プランに含まれているオンラインコースをご参照ください。ラーニングセンターを利用するには **My ROTARYのアカウント**が必要となります。

16歳以上のインターアクターも、ロータリーのラーニングセンターにあるオンラインコース「**青少年向け：奉仕学習ガイド**」を利用できるほか、インタラクティブなハンドブック「**奉仕学習のワークブック (青少年向け)**」を活用して奉仕プロジェクトを実施できます。このコースでは、インターアクターが地域社会調査の実施方法、パートナーの探し方、詳細なスケジュールと予算の作成方法を学びます。ワークブックには、奉仕当日のチェックリストなどのテンプレートやツールが含まれています。

奉仕学習の流れの初期のステップで、インターアクターは、特定したニーズに取り組むために最も効果的な奉仕活動はどのようなものかを判断します。奉仕の種類には次のようなものがあります。

- ▶ **直接的な奉仕**：奉仕の恩恵を受ける人びとのために直接的な活動を行います。たとえば、高齢者の歴史証言を文書に記録する、年下の生徒を指導する、自由に移動できない人たちに食事を提供するといった活動があります。
- ▶ **間接的な奉仕**：広場の清掃、恵まれない人びとのための募金、学校や図書館のための寄贈本の収集といった活動を支援します。
- ▶ **アドボカシー活動**：問題についての認識を高めます。たとえば、ポリオ根絶について自治体に支援を呼びかけたり、啓発キャンペーンを実施したりできます。

役立つ情報

アドバイザーが **ラーニングセンター** を利用するには、**My ROTARYのアカウント**が必要となります。16歳以上のインターアクターはMy ROTARYのアカウントを作れますが、16歳～17歳の場合には親か法的保護者からの許可が必要です。インターアクターが16歳未満である場合、ラーニングセンターにある資料をアドバイザーまたはスポンサークラブの会員が印刷して渡すことができます。

奉仕プロジェクトのアイデアを探している場合は、以下を参考にすることができます。

- ▶ 以下の**ロータリーの活動分野**のいずれかに取り組む：
 - 平和の推進
 - 疾病との闘い
 - 水と衛生
 - 母子の健康
 - 教育の支援
 - 地域経済の成長
 - 環境の保護
- ▶ 世界中のインターアクトクラブが応募した動画、写真、エッセイの中から選ばれた**インターアクト賞**の入賞作品を参照する。
- ▶ **ロータリーショーケース**で、インターアクト会員が実施した奉仕プロジェクトの情報を見る。フィルタ機能で「組織の種類」から「インターアクト・クラブ」を選んで活動を検索したり、自分たちの活動を掲載したりできます。



国際理解の推進

ロータリーは、国際理解、親善、平和を推進する世界的なネットワークです。インターアクターもこのネットワークの一員であり、アドバイザーとスポンサークラブ会員は、このネットワークを通じて世界中の青少年をつなげることができます。インターアクトクラブがロータリーの世界的ネットワークを生かして国際理解を推進し、異文化を学ぶ方法をいくつかご紹介します。

- ▶ **双子クラブを探す**：他国のインターアクトクラブと長期的なパートナーシップを築くことができます。インターアクターは、国際理解のプロジェクトや奉仕プロジェクトで協力し、海外のクラブとその国について学ぶためにオンライン会議を開くことができます。互いに意思疎通できる言語を話す会員がいるクラブを見つけてみましょう。インターアクター、スポンサークラブ、地区インターアクト委員長が、既に海外のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブとつながりを持っている場合もあります。ソーシャルメディアを活発に活用しているインターアクトクラブや同じ分野の活動に関心を持っているインターアクトクラブをオンラインで検索してもよいでしょう。
- ▶ **平和を推進する**：ロータリーの活動分野の一つである「平和の推進」を通じて、国際理解を深めることができます。異文化への理解を深めるための対話や協力の機会を見つけるために、スポンサークラブと協力することをインターアクターに提案してみましょう。My ROTARYの「**生活の中で平和構築を実践する10の方法**」も参考にできます（インターアクターがMy ROTARYを利用するには、16歳以上である必要があります）。
- ▶ **ロータリーの世界的ネットワークを活用する**：**ロータリー行動グループ**と**ロータリー親睦活動グループ**について学び、これらのグループと協力する方法を探ってみましょう。

- ▶ **ロータリーの交換プログラムについて会員に紹介する：**インターアクターはロータリーを通じてオンラインや対面での交換に参加できます。**ロータリー青少年交換**で海外の学生を受け入れたり、自分が交換留学生となったりできるほか、**ロータリー友情交換**などインターアクト卒業後に参加できるプログラムもあります。



リーダーシップ力の育成

インターアクターが生涯役立つリーダーシップスキルを身につける機会が数多くあります。奉仕プロジェクトでリーダーシップを発揮することで、人間関係づくり、問題解決、グループとして意思決定といったスキルが培われます。

リーダーシップ力の育成について例会で取り上げることを、インターアクターに提案してみましょう。そのためのアイデアを以下にご紹介します。

- ▶ **リーダーシップ理論**
 - さまざまなリーダーシップ理論の主な概念を学ぶ。
 - ワークシート、アンケート、グループ演習を用いて、各会員のリーダーシップスタイルを確認する。
- ▶ **コミュニケーションスキル**
 - 会員が交代でグループアクティビティのリーダーを務める。
 - スピーチコンテストを実施し、自由なトピックについて各会員がスピーチして仲間から建設的なコメントを寄せてもらう。
- ▶ **協力**
 - さまざまな視点や考え方を認め、尊重することの大切さを強調する。
 - 協力が必要とされる課題に取り組む。
- ▶ **倫理的リーダーシップ**
 - 倫理的リーダーシップの要素について学ぶ（敬意、奉仕、コミュニティ、正義、誠実さなど）。
 - 倫理的リーダーシップがなぜ大切なのかをクラブで考え、自分自身の倫理規範インターアクターに作ってもらう。

役立つ情報

インターアクターがクラブでの活動計画を立てる際、**目標を達成したインターアクトクラブに贈られる賞**の受賞基準を確認することで、活動のアイデアを得たり、活動の方向性を定めたりできます。

第9章

クラブの広報と推進

インターアクトクラブは、地域社会や世界に変化をもたらすためにさまざまな活動を行っています。インターアクターがもたらすインパクトについて地元内外の人びとに知ってもらい、参加への関心を高めるために、スポンサー、アドバイザー、インターアクターがクラブとロータリーについて広報や推進活動を行う必要があります。本章では、インターアクトの推進に役立つロータリーの資料と推進方法をご紹介します。



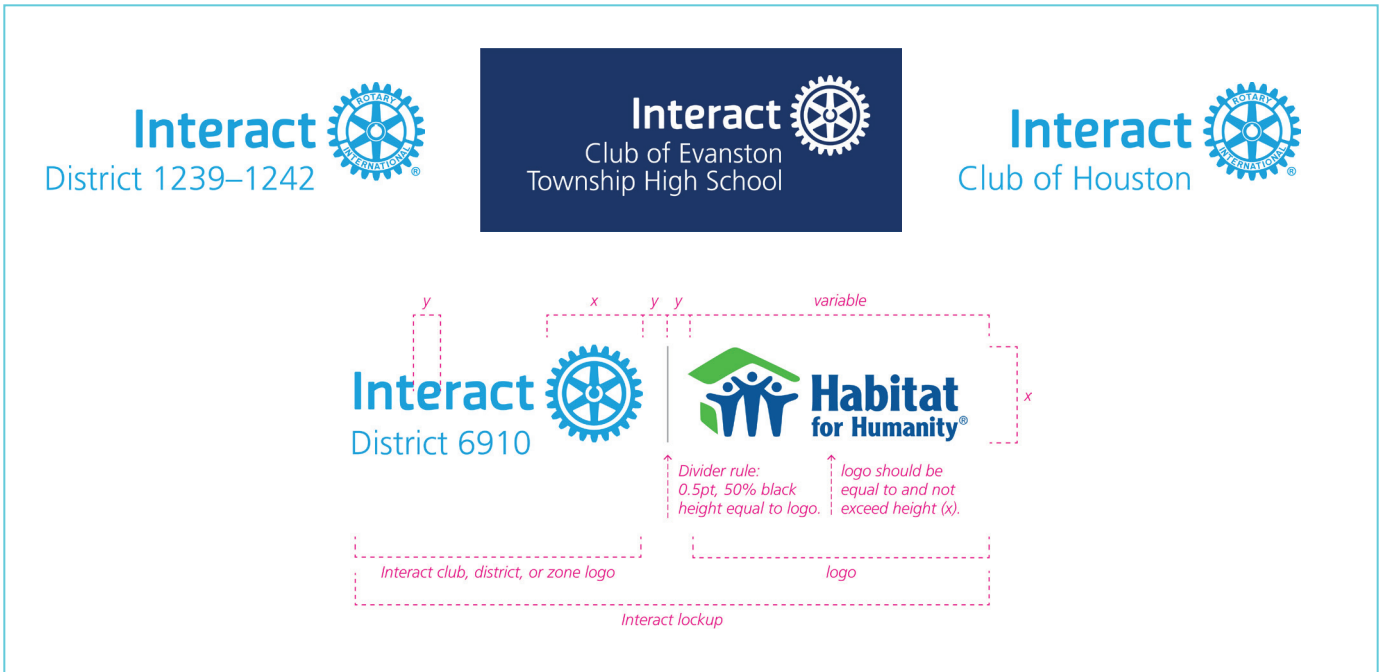
公共イメージとブランド構築

「公共イメージ」とは、ロータリー外で広く一般に認知されているイメージのことです。インターアクターは、1世紀以上にわたって築かれてきたロータリーの存在感と認知を生かしてクラブへの注目を集めることができます。ただし、必ずしもすべての人がロータリーやクラブの活動について知っているわけではないため、ロゴなどのブランド要素を適切に活用することが重要です。クラブの推進用資料を作成する際には、ブランドのガイドラインに沿っていることを確認してください。ガイドラインはロータリーの[ブランドリソースセンター](#)からご覧いただけます。

- ▶ **ガイドライン**：ロータリーのメッセージ作成とビジュアルのガイドラインを使用して、明確かつ効果的なコミュニケーション資料を作成しましょう。
- ▶ **ロゴのテンプレート**：テンプレートを利用してクラブ名入りロゴを作成し、インターアクトがロータリーファミリーの仲間であることがはっきりとわかるようにしましょう。
- ▶ **推進用資料**：推進カード、ポスター、バナー、ニュースリリースをカスタマイズできます。
- ▶ **写真と動画**：高画質の写真や動画を見つけ、クラブのウェブサイトやソーシャルメディアでの情報発信、交流イベントでの発表などに活用できます。

インターアクトのロゴの使用

クラブの活動を広報する際には、インターアクトのロゴにクラブ名を入れて使用することが重要です。クラブ名入りロゴにより、クラブ名がより広く認知され、クラブとロータリーとのつながりが強調されます。クラブ名入りロゴは、[ブランドリソースセンター](#)のテンプレートで作ることができます。以下はその例です。



クラブがもたらしているインパクトを伝える

インターアクトクラブが推進用資料を作成したら、それを使ってクラブの活動を多くの人に紹介しましょう。そうすることで、クラブの公共イメージがアップし、入会候補者や支援者の関心を集めることができます。そのためのアイデアを以下にご紹介します。

手段／ツール

行事

文化祭や美術展、音楽演奏会などのイベントを利用して、クラブの活動成果を紹介しましょう。参加者に今後の奉仕活動や募金への協力を呼びかけることもできます。

活動の報告

インターアクターは、クラブのプロジェクトを報告したり、クラブの活動をまとめた年次報告書を作ったりできます。例えば、クラブのウェブサイトを作成して活動の最新情報を掲載し、今後の活動への参加方法をサイトの訪問者に伝えることができます。

手段／ツール

プレゼンテーション	インターアクターがプレゼンテーションを行い、同じ関心や目標を持つ人たちに活動を紹介します。また、地区大会やその他の行事で、ロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブに向けて話をする機会がある場合があります。
地元メディア	クラブの奉仕プロジェクトへの関心を集めるために、テレビ局やラジオ局、新聞社にプレスリリースを送信することから始めましょう。
ソーシャルメディア	クラブの取り組みを紹介する最良の方法の一つが、ソーシャルメディアです。インターアクターが自分たちの奉仕プロジェクトについて投稿できます（第6章の「オンラインの安全性」を参照のこと）。また、スポンサークラブがインターアクターのプロジェクトをロータリーショーケースに掲載することもできます。
地域社会のリーダー	地域社会のニーズやインターアクターが地域に貢献したいと考える理由について、地元のリーダーに手紙を送ったり、公開ミーティングを開いたりすることを奨励しましょう。
インターアクト賞	インターアクターは、国際ロータリーが選んだテーマに沿ってクラブのプロジェクトに関する動画、写真、エッセイのいずれかを作成し、国際ロータリーのインターアクト賞に応募できます。賞のテーマは毎年9月に発表されます。



新会員を募る

インターアクターが効果的な広報を行うことで、多様な入会候補者の関心を引くことができるでしょう。以下は入会者を募る方法の例です。

学校を基盤とするクラブ

学校のリーダーに連絡し、クラブの情報を共有する。

学校の周辺、特に生徒が集まる場所にクラブの資料を掲示する。

学生集会や部活フェアなどの学校行事を利用してクラブについて伝える。

アドバイザーと協力してクラブのソーシャルメディアアカウントを作成・管理し、クラブの情報をシェアする。

クラブの奉仕プロジェクトやそのほかの活動に入会候補者を招く。

地域社会を基盤とするクラブ

学校や青少年団体に連絡し、クラブの情報を共有する。

地区インターアクト委員長などの地区リーダーと協力して、地区でクラブの活動を紹介する。

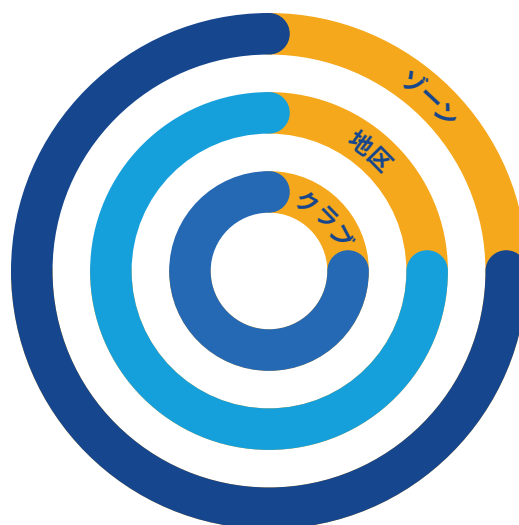
ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）とロータリー青少年交換の元参加者に、インターアクト入会に関心があるかどうかを尋ねる。

CHAPTER 10 第10章

ロータリーとの パートナーシップ

インターアクトはロータリーファミリーの一部です。つまり、ロータリーのクラブや地区、国際ロータリーがあなたを支えています。本章では、ロータリーの仕組み、あなたとインターアクターをサポートしてくれる人やリソース、クラブや地区を越えてほかのインターアクトクラブとつながる機会について説明します。

第4章に説明されたスポンサークラブの要件と責務のほかにも、スポンサークラブ



は、より大きなロータリーのネットワークとつながる方法を示すことで、インターアクターとのパートナーシップを広げることができます。

インターアクター、ローターアクター、ロータリアンとのパートナーシップを培うためのヒントをいくつかご紹介します：

- ▶ 活動予定表を交換し、スポンサークラブ、地区、ゾーンの活動への参加をインターアクターに奨励する。
- ▶ スポンサークラブの例会や地区・ゾーンの会合にインターアクトを招き、クラブの活動に関する最新情報を発表してもらう。
- ▶ インターアクトの各委員会の代表者に、スポンサークラブの委員会との連携を促す（例えば、インターアクトクラブの奉仕委員会の委員がスポンサークラブの奉仕委員会の会合に出席する）。
- ▶ インターアクトクラブとスポンサークラブの間でメンタープログラムを立ち上げる。

役立つ情報

後継者育成計画／引継ぎ計画を立てておくことで、インターアクトクラブの強さを維持できます。就任までに十分な余裕を持ってクラブ会長を選出し、スポンサークラブの次期会長と会って重要な情報や資料を共有できるようにしましょう。



地区からのサポート

ロータリークラブとローターアクトクラブは500以上の地区に分かれています。地区ガバナー（下記参照）や地区委員長といった地区リーダーが、地区内のクラブとプログラムの強化と支援にあたっています。

地区インターアクト委員会

地区インターアクト委員会は、地区内のインターアクトのあらゆる活動を監督します。インターアクトクラブを強化し、地区全体でインターアクトの発展と広報に努め、ロータリーの青少年保護方針が守られるよう研修と支援を行う責任を担っています。また、インターアクトクラブ同士を結びつけ、インターアクトとロータリーのつながりを強化します。インターアクト委員会の委員となれるのは、ロータリー会員、ローターアクト会員、インターアクトクラブ会員です。

地区インターアクト委員長は、インターアクト委員会を監督します。地区ガバナーがロータリー会員またはローターアクト会員の中から委員長を任命します。委員長は、地区のインターアクトプログラムを管理し、毎年すべてのクラブが国際ロータリーに連絡先情報を提出するよう確認します。

地区インターアクト代表を務めるインターアクターは、地区インターアクト委員会の共同委員長を務めることができます。この代表は、地区内のインターアクトクラブの全会員によって選出され、インターアクトクラブに指針とインスピレーションを与えます。

その他の地区の役職

クラブは、次のようなほかの地区リーダーから支援を得ることができます。

地区ガバナー：ガバナーは地区内のすべてのプログラムと活動を支援します。新しいインターアクトクラブとスポンサークラブを承認するほか、地区インターアクト委員長とそのほかのリーダーを任命します。

地区青少年保護役員：ロータリーの青少年保護に関する方針と手続きについて助言します。

地区学友委員長：学友委員長はインターアクトクラブ会員のローターアクトへの移行をサポートし、ロータリーでのほかの機会を学友に紹介します。

地区を越えて

ロータリーの多地区合同レベル、ゾーンレベル、国際レベルで、インターアクト会員のためのさらなるサポートと機会を見つけることができます。

役立つ情報

スポンサーロータリークラブとローターアクトクラブは、インターアクトクラブの所在する地区内にある必要があります。

インターアクト委員会の役割と責務の詳細は、「**就任の準備：地区インターアクト委員会**」のコース（**ロータリーのラーニングセンター**）でご覧ください。

多地区合同

多地区合同の行事、研修、奉仕プロジェクトなど、地区同士が協力して取り組む機会は数多くあります。このような機会に、幅広いインターアクト会員のグループが新しい友人を作り、互いに学び合うことができます。インターアクトクラブまたはスポンサークラブがこうした行事に興味がある場合、地区インターアクト委員長に連絡して、インターアクターが出席できる行事の予定を聞いたり、協力して行事を企画したりできるでしょう。多地区合同の行事を行うには、必ず参加地区のガバナーの同意が必要です。

ゾーン

ロータリーの地区は、世界各地の30以上のゾーンに分けられています。地域リーダーと理事から成るチームがゾーンを監督します。ゾーンの会議、研修会、そのほかの行事にインターアクト会員が招かれることもあります。

国際ロータリーのスタッフ

ロータリーの会員とプログラムは、6カ所の国際事務局と米国イリノイ州エバンストンの世界本部で働く数百名の国際的スタッフが支えています。若いリーダーのためのプログラムを担当するスタッフは、新クラブの認定、クラブと地区リーダーへの最新情報の提供、インターアクト賞や世界インターアクト週間などの計画、クラブ用の参考資料の作成などを通して、インターアクトをサポートしています。ご質問がある場合は、interact@rotary.orgまたは**日本事務局**までお問い合わせください。

第11章

ロータリーとともに成長する：インターアクトを超えて

インターアクトクラブへの入会は、奉仕とともに生きる人生の始まりとなる可能性があります。スポンサークラブ会員とアドバイザーは、インターアクトを超えて活動していく方法をインターアクターに示すことができます。以下のプログラムを紹介することで、インターアクターがロータリーとともに成長し続けることができます。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)：RYLAは14歳～30歳の若者を対象とした集中的なリーダーシップ育成プログラムです。クラブ、地区、または多地区合同による主催の下、地域社会に参画し、人間的・職業的に成長し、新しいスキルを学ぶことができます。成功したRYLAイベントが新しいインターアクトクラブの設立のきっかけとなったり、過去のRYLA参加者がインターアクトクラブの入会候補者となったりすることもあります。

ロータリー青少年交換：ロータリー青少年交換では15歳～19歳の学生が外国語を学び、異文化を発見し、平和の親善大使となることができます。ロータリークラブが学生を派遣し、短期交換か長期交換のいずれかを選択できます。バーチャル形式での交換も選択肢の一つとなります。ロータリー青少年交換の詳細については、ロータリーのブログ（ロータリーボイス）で[交換学生と学友の体験談をご覧ください](#)。



インターアクト卒業後

インターアクターにとって、ロータリーでの体験はインターアクトで終わるわけではありません。ロータリーには、人生のあらゆる段階で参加できる方法があります。インターアクトを卒業後、ロータリーにかかわる続けることを希望する青少年は、以下の方法を検討することができます。

学友グループ：元インターアクターは、ロータリーの学友ネットワークの一員となり、世界中で奉仕活動に携わる仲間たちとつながることができます。

ロータリー平和フェローシップ：平和と開発分野で仕事をした経験のあるリーダーを対象とし、ロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップ（奨学金）を提供します。フェローは、社会奉仕と国際奉仕、平和の構築に取り組んでいます。

ロータリー行動グループ：ロータリー行動グループは、経済開発、平和、薬物乱用防止、環境、水など、世界各地の特定分野のエキスパートから成る独立したロータリー関連グループです。行動グループに参加するのにロータリー会員である必要はありません。変化をもたらすために専門知識を生かしたいという人は、誰でも参加できます。

役立つ情報

インターアクトクラブは、地区のRYLAやロータリー青少年交換プログラムと協力できます。例会に学友を招待して体験談を話してもらったり、一緒に奉仕活動や交流会を計画したりしましょう。

ロータリー地域社会共同隊 (RCC) :ロータリー地域社会共同隊は、奉仕プロジェクトを通じて世界を変えるというロータリーの取り組みをともに担う、ロータリー会員以外によるボランティアのグループです。ロータリークラブがスポンサーとなり、ロータリーのネットワークとメンターシップを通じて、協力して奉仕プロジェクトを計画、実施します。

ロータリー友情交換:ロータリー友情交換は、ロータリー会員とその友人のための国際交流プログラムで、参加者が互いの自宅やクラブでホストを務めます。参加者は個人、夫婦、家族、グループで旅行でき、ロータリー会員であるかどうかは問いません。

ロータリークラブまたはローターアクトクラブ:インターアクトの学友は、いつの日かローターアクトクラブやロータリークラブに入会し、新しい友人を作り、地域社会での奉仕を続け、リーダーシップのスキルをさらに磨くことができます。スポンサークラブは、地区リーダーと協力して、インターアクト学友が自分のニーズに合ったクラブを見つけるのを支援できます。**クラブ検索**を利用すれば、世界中のロータリークラブ、ローターアクトクラブ（大学基盤または地域社会基盤）を見つけることができます。

第12章

ロータリーのリソースの活用



オンラインツール

- ▶ **ブランドリソースセンター**: クラブ名入りのインターアクトのロゴを作成し、推進用資料やクラブのTシャツなどに使用できます。
- ▶ **ロータリーショーケース**: アイデアやインスピレーションを得るために世界各地で実施された奉仕プロジェクトの情報を見ることができます。また、スポンサークラブはインターアクトクラブのプロジェクトを掲載できます。
- ▶ **インターアクト公式フェイスブック**: インターアクターや、インターアクトを支援するロータリー会員と交流できます。
- ▶ **ロータリーのラーニングセンター**
 - **奉仕学習のリソース**: 青少年主導の奉仕プロジェクトを企画するための参加型コースとワークブックをご用意しています（青少年向けとアドバイザー向け）。
 - **青少年プログラム参加者の保護**: インターアクトに携わるすべての大人は、虐待とハラスメントの認識、対応方法、防止に関するこのコースを修了しなければなりません。



その他のリソース

- ▶ **インターアクトクラブ認定フォーム (PDF)**
- ▶ **標準インターアクトクラブ定款 (PDF)**
- ▶ **推奨インターアクトクラブ細則 (DOC)**
- ▶ **インターアクトクラブ情報の更新方法 (PDF)**
- ▶ **Young Leaders in Action (英語のニュースレター)**: インターアクトを含むロータリーの若いリーダー向けプログラムについての月間Eニュースレター。
- ▶ **ロータリーの活動分野**: ロータリーの理念と、その推進に向けた活動について詳細をご覧ください。
- ▶ **青少年プログラム (ウェブページ)**: 青少年向けのほかのロータリーのプログラムの情報を掲載。
- ▶ **ロータリー章典**: インターアクトやその他の青少年向けプログラムに関する情報など、組織のために国際ロータリー理事会が制定した方針と手続き。

補遺

以下の補遺資料には、インタラクターと共有できるテンプレートが含まれており、クラブの形成や活動の計画に役立てることができます。これらのテンプレートは、「[インタラクトハンドブック：インタラクターの手引き](#)」にも掲載されています。

補遺1：クラブ認定証伝達式の例

インターアクトクラブの設立と認定証伝達式についての詳細は、[第3章](#)をご覧ください。

クリエイティブな方法で新クラブの認定をお祝いしましょう。クラブの個性や地域社会の特徴を反映した式典を企画してください。新クラブの認定証伝達式の計画を立てる際には、ここにある情報と以下の表を活用できます。

招待

スポンサークラブや以下の地区リーダーに、式典での司会や出席をお願いすることもできます。

- ▶ 地区ガバナー
- ▶ 地区インターアクト委員長
- ▶ 地区インターアクト代表

また、クラブ会員の家族、学校の先生や職員、地域社会のリーダーを招待することもできます。

式典のアイデア

ロータリーの歴史を紹介する。ロータリーの創設、最初のインターアクトクラブの設立、ロータリーとインターアクトの使命など、ロータリーとインターアクトの歴史を簡単に紹介することができます。

ロータリーファミリーの国際性に光を当てる。インターアクトクラブへの入会者は、国際社会の一員になることを強調します。

会員を紹介する。新会員の名前を一人ずつ紹介し、全員にピンバッジや会員カードなどのちょっとした記念品を贈ることを考えてみましょう。

クラブ理事会を紹介する。理事会メンバーを紹介し、役割を簡単に説明します。会長やほかの役員に次年度の目標について簡単に話してもらおうのもよいでしょう。

写真撮影

式典の最後に集合写真を撮りましょう！

補遺2：目標設定に役立つ質問

目標設定についての詳細は、[第7章](#)をご覧ください。

目標を毎年設定することで、クラブの活動や行事を計画しやすくなり、クラブの積極性と活動力を維持できます。インターアクターがクラブ全体で協力して以下の質問について考え、年間を通じて活動状況を確認しましょう。

新クラブ

<p>どのような特徴をもつクラブにしたいか。</p>	
<p>何を「成功」とみなすか。</p>	
<p>DEIを推進するために何をするか。</p>	

既存のクラブ

<p>現在の目標の達成状況はどうか（例を挙げて説明）。うまくいったことは何か。</p>	
<p>達成していない目標は何か。それはなぜか。うまくいっていないことは何か。</p>	
<p>クラブの強みは何ですか？その強みをどのように生かせるか。</p>	
<p>会員の意見を集め、全員がクラブで充実した体験をできるようにするには、どうしたらよいか。</p>	

補遺3：インターアクトクラブ向けの表彰

目標設定についての詳細は、[第7章](#)をご覧ください。

インターアクターがクラブの目標を設定する際には、[目標を達成したクラブに贈られるロータリーの賞](#)に関する情報も参考にしてください。

ロータリーは、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促し、変化と成長のために適応力を高めているクラブを表彰します。

説明

インターアクトクラブが、次の20の目標のうち、11以上を選択します。クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。この表彰では、インターアクトクラブがロータリー年度（7月1日～6月30日）の1年間をかけて目標を達成します。スポンサークラブの役員とアドバイザーは、[推薦フォーム](#)を記入する際にこのワークシートを参照できます。

この表彰を受けるには、インターアクターが次のことを行う必要があります：

- 目標の詳細を確認する。
- アドバイザーの指導の下、少なくとも11の目標を選ぶ。
- 選んだ目標について、「目標の設定」の欄に具体的な数値等を記入する。
- クラブが目標を達成したら、「達成状況」の列にチェックマークを入れる。
- スポンサークラブの役員とアドバイザーは、年間を通じてこのワークシートを参照し、クラブが目標達成に向けて進んでいることを確認する。
- スポンサーロータリークラブ役員またはアドバイザーと協力し、8月15日までに[推薦フォームを提出](#)する。フォームを記入する際にこのワークシートを参照する。

カテゴリー	目標	目標の設定	達成状況
クラブの会員数	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数		
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		

カテゴリー	目標	目標の設定	達成状況
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員は地区研修に参加する予定がある。		
ラーニングセンターの利用	クラブのアドバイザーまたは会員が、ロータリーのラーニングセンターにある奉仕学習のコースを修了する予定がある。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	「重点分野」として知られるロータリーの活動分野のいずれかに関する重要な奉仕プロジェクトに、スポンサークラブまたはアドバイザーと協力して取り組む。		
RYLAへの参加	ロータリー青少年指導者養成プログラムに__名のクラブ会員の参加を予定している。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		

カテゴリー	目標	目標の設定	達成状況
学友の参加	スポンサークラブと協力して、卒業するインターアクト会員にローターアクトクラブ(大学基盤または地域社会基盤のどちらか)を紹介する。		
クラブ戦略計画	戦略計画に従って活動し、戦略計画が現在の優先事項を反映していない場合は更新する。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		
クラブのプロジェクトに関するメディア掲載	世界インターアクト週間に行う活動についてソーシャルメディアで情報発信する。		
ブランドリソースセンターの利用	ブランドリソースセンターのテンプレートを使って、クラブ名入りのインターアクトのロゴと資料を使用する。		
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕広報資料(推進用動画、印刷広告、ブランドリソースセンターのその他の資料など)を活用して、地域社会でインターアクトを広報する。		
クラブの広報	毎年のインターアクト賞に参加する。		

補遺4：具体的な目標の設定

ロータリーが提案した目標をインターアクトクラブで確認したら、そのほかのクラブ目標も設定できます。

インターアクターが行うべきこと：

1. 「目標」の列に具体的な目標を記入する。
2. 各目標を達成するためにクラブがどのような計画を立てているかを記入する（活動をまとめる委員会、必要な資金やリソース、達成期日など）。
3. クラブが目標を達成したら、「達成状況」の列にチェックマークを入れる。

目標	備考	達成状況

補遺5：例会の議題の見本

充実した例会を行うには、議題が明確で整理されていることが重要です。以下は例会の流れの例です。

議題項目

1. **開始宣言、議題の紹介。**例会で議論すること、達成すべきことをリストアップして会員に示します。

2. **講演者やゲスト、新会員の紹介。**ゲストや新会員の名前と情報を紹介できるよう、準備しておきます。

3. **会員同士の交流。**例会の最初に楽しいアクティビティを盛り込みます。

4. **お知らせ。**例会で伝え忘れないよう、重要なお知らせや注意事項をリストアップしておきます。

議題項目

5. **理事会と委員会の最新情報。**理事会と委員会がレポートや最新情報を発表します。

6. **オープンフォーラム。**会員が質問したり、クラブの運営や活動について話し合ったりする時間を設けます。理事会でフォローアップが必要な質問や項目があればメモしておきます。

7. **閉会。**例会を締めくくる言葉を記入しましょう。

補遺6：ロータリー年間予定表

ロータリーでは、**ロータリーの活動分野**や会員にとって大切なそのほかの主題を強調するための「月間」が定められています。また、「世界インターアクト週間」など、記念日を祝うための日や週間もあります。

奉仕学習プロジェクトのアイデアを得るために、**ロータリーの年間予定表**を参考にしてください。

1月：職業奉仕月間

2月：平和構築と紛争予防月間

3月：水と衛生月間

4月：環境月間

5月：青少年奉仕月間

6月：ロータリー親睦活動月間

7月：母子の健康月間

8月：会員増強・新クラブ結成推進月間

9月：基本的教育と識字率向上月間

10月：地域社会の経済発展月間

11月：ロータリー財団月間

12月：疾病予防と治療月間

ロータリー学友参加推進週間：10月7日を含む一週間（月～日曜）

世界インターアクト週間：11月5日を含む一週間（月～日曜）

世界ローターアクト週間：3月13日を含む一週間（月～日曜）

世界理解と平和の日：2月23日（ロータリー創立記念日）



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Rotary.org

654-JA—(124)